歩

―創立５周年記念誌―

国際ロータリー第３５５地区

西那須野ロータリークラブ

歩

―創立5周年記念誌―

国際ロータリー第355地区

西那須野ロータリークラブ

〈表　　紙〉

創立２年の歩み“生い立ち”につづくクラブの記録第２集だから立てば歩めの語にならって「歩」と書いた。ホとお読み頂いてもアユミ、アルクなど御自由に。将棋の好きなお方はフとでも。但しブだけはご遠慮ねがいたい…たったの一坪ではなさけないし、どうもブがわるいなどと連想もよろしくない…あれは、分(ブ)である。

ほ！と読んで頂ければ最高。われわれ自身、おどろいているのだだから…次の１０周年には“進”とゆきたい。

ひと筆書きの活字体を切りぬいてみたら案外確かな字になった。歩けそうである。

写真は山口君が苦心して撮す。碑面が鏡になるので撮影になってしまう。これを表紙に貼るアイディアは鈴木編集長である。　　草

〈西那須野町中央公民館前庭に立つ。裏表紙はその裏面〉

五周年記念誌発刊によせて

時の流れは早いもので，当クラブが孤々の声を上げたのは，昭和46年12月10日でございました．宇都宮クラブの江部順治，滝沢信二坂本守の諸先輩の並々ならぬ御尽力と，大田原クラブの友情をもちまして，創立されてここに五周年を迎えました．

図らずも，この佳き年に「意義ある業績賞」という，クラブレベル最高の栄与とされる行賞が，わがクラブの頭上に輝やきました．この受賞の対象に目されました一連の事業は，そのままわがクラブの五周年の歩みであったと申しても過言ではありません．

私共はロータリーの原則に従って「特色を持ったクラブ」として行動して参りましたが，地方小都市の小さなクラブとしては，それは大きな命題であり，文字通り“奉仕の冒険〟でありました．その間会員の量と質の増強がなされ，ともかくも，私共も地区内の標準的なクラブに成長し，その基礎も出来たと思うのでございます．これからは猪突盲進でもなく，暗中模索でもなく，一つの確かな自信をもって進むべきであると考えております．

去る昭和48年に鈴木初代会長によって，クラブ二周年誌「生い立ち」が刊行され，クラブ誕生前後の貴重な記録として発刊されておりますが，その後のクラブの歴史と記録を整理して記念誌として発刊する必要があると判断し，又次のひと節に向って新しい歩みを起す自戒の資とも致したく，ここに，クラブ五周年記念誌“歩〟を発刊することに致しました．

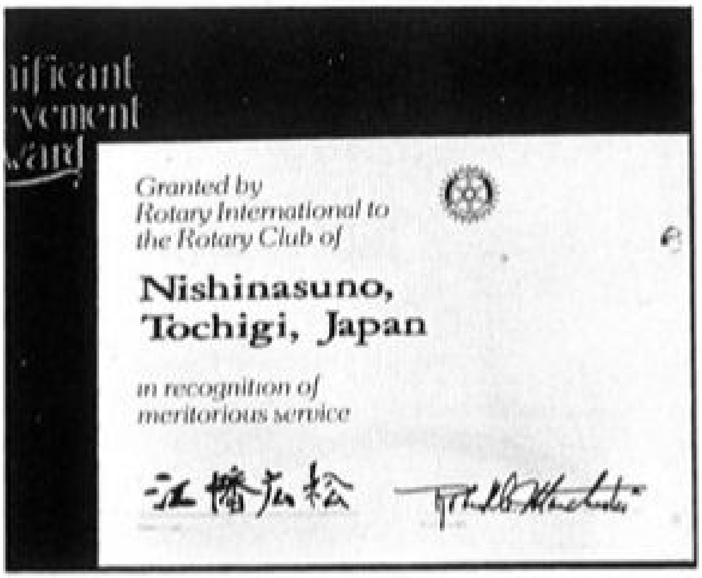
本誌の為に特に御寄稿頂いた坂本直前ガバナーにも篤く御礼申し上げます．幸いにして記念誌編集委員会を設け，その委員長自ら筆をとり記録を集収し，編集委員諸氏の超我の奉仕を得て，ここに立派に上梓をみるに至りましたことは誠に喜ばしい限りであります．その並々ならぬ御尽力に深い敬意と感謝を表しまして発刊の辞と致します．

会長　小池　保

目　次

アルバム……………… 3
式典・祝宴…………… 14
寄稿………………… 48
―５周年に寄せて―
クラブ小史…………… 52
会員のよこ顔………… 74

1
アルバム

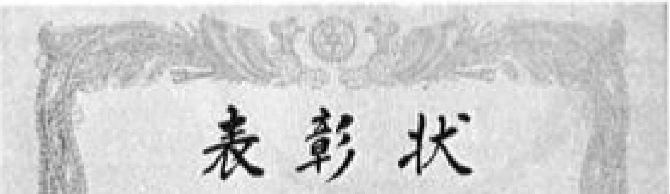


Granted by
Rotary International to
the Rotary Club of

Nishinasuno,
Tochigi, Japan

in recognition of
meritorious service

1976－77年度国際ロータリー
『意義ある業績賞』



表彰状

國際ロータリー第355地区
西那須野ロータリークラブ

國際ロータリーの勧奨する1974－75ロータリー年度
意義ある業績賞に応募された貴ロータリークラブ
の業績は誠に時機に適したものであります
地区は業績賞選定委員会の推薦によりその
功績を称えて顕彰します

昭和50年6月22日

國際ロータリー第355地区ガバナー
田中 達次郎

1974～75年度R．I．第355地区
『ガバナー賞』

忘れ得ぬ方々

江部　順治
宇都宮R．C．初代会長

滝沢　信二
パストガバナー

坂本　　守
パストガバナー

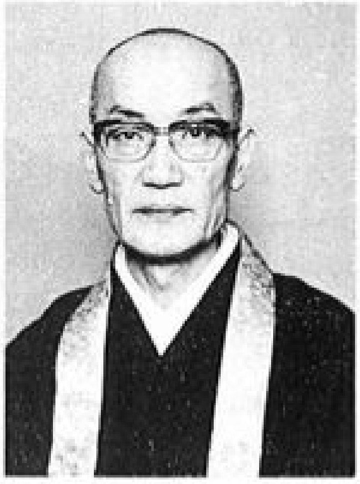
堀江　　護
創立時特別代表

歴 代 会 長

初代・二代会長
鈴 木 基 一
1971年12月～1973年6月

三代会長
宮 沢　　勝
1973年7月～1974年6月

四代会長
鈴 木 伊勢松
1974年7月～1975年6月



五代会長
草 野 栄 龍
1975年7月～1976年6月

六代会長
小 池　　保
1976年7月～1977年6月

生い立ち

R．I．認証状伝達式に於て
滝沢ガバナーより認証状の伝達
1972年6月4日
於 ホテルニュー塩原

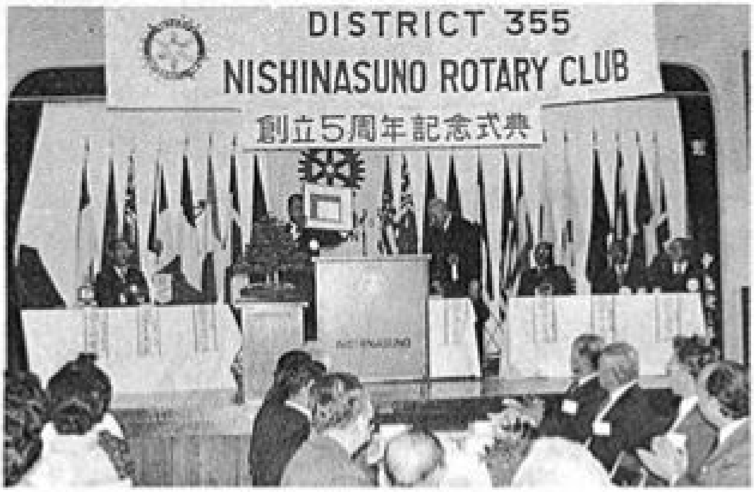
創立会員寄せ書き

創立総会
1971年11月8日
於 足利銀行
西那須野支店

創立五周年記念式 1977年1月23日，於 中央公民館

受 付 風 景

鈴木式典委員長経過報告



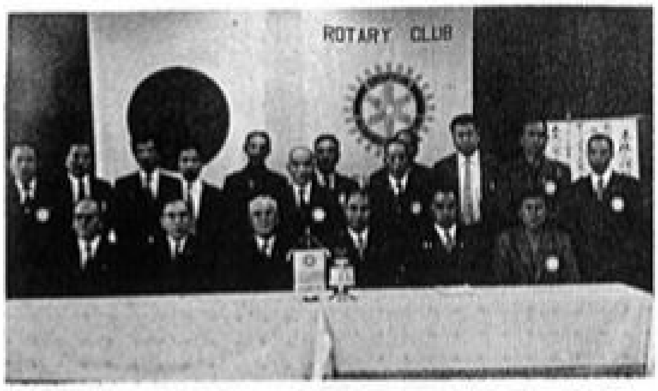
江幡ガバナーより「意義ある業績賞」の伝達

江幡広松ガバナー祝辞

創立会員へ感謝状贈呈

祝　　宴
於いとう

ガバナー公式訪問



滝沢信二ガバナー訪問　1972年３月21日

認　証　状

岩瀬主一ガバナー訪問
1972年８月９日

小林英一ガバナー訪問　1973年10月16日

田中達次郎ガバナー訪問
1974年12月17日

坂本守ガバナー訪問　1975年９月23日

江幡広松ガバナー訪問　1976年９月21日

アジア学院東南アジア留学生との交歓例会

バイセリアR．C．との交流
国　際　親　善

海外教室参加の
地元高校生バイセリア訪問団
1973年7月～8月

バイセリアR．C．一行51名を
西那須野駅頭に迎ふ
1974年8月7日

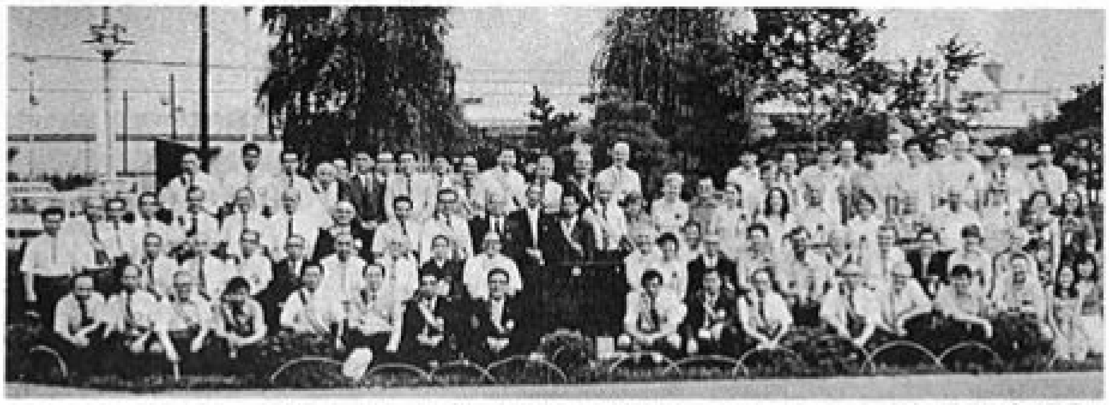
1975－76年度両クラブ間交換学生

リー・スコット・ローグナー
（マウント・ホイットニー高校）

ドナ・ケイ・クラーク
（マウント・ホイットニー高校）

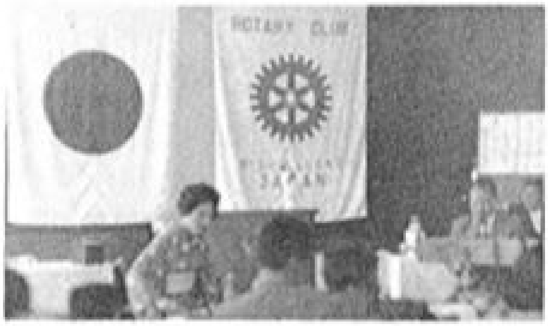
永　田　美佐江
（大田原女子高校）

熊　田　文　子
（大田原女子高校）



バイセリアロータリークラブ一行来西歓迎会の折両クラブ合同記念撮影
於　西那須野中央公民館　1974年8月7日

輪を拡げよう



東南アジア留学生を迎え邦楽演奏

栃木県第一分区 I．C．G．F．をホストする
1975年11月16日　於 ホテルニュー塩原

栃木県内会長幹事会をホストする
1975年11月11日　於 ホテルニュー塩原

家族懇親ハイキング（塩原竜化の滝）

会員ボーリング大会表彰風景

2
式典・祝宴

創立五周年記念式典プログラム

◇式　典　の　部

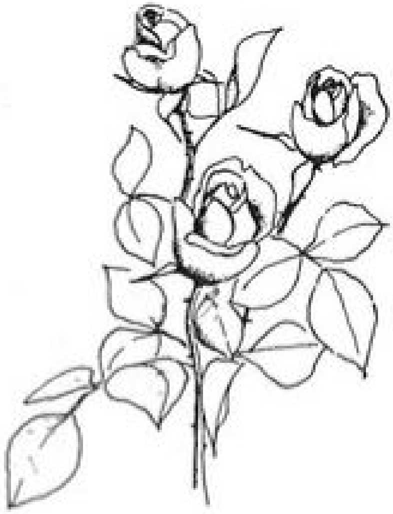
とき　1月23日　午後1.30〜2.45
ところ　西那須野町中央公民館

1：30	開　　式	司会者	関谷直人
	点　　鐘	会　長	小池　保
	君ガ代斉唱	指　揮	森　利男
	ロータリーソング（奉仕の理想）	指　揮	森　利男
	開会の辞	幹　事	小滝信光
	来賓紹介	会　長	小池　保
1：40	経過報告	式典委員長	鈴木基一
1：50	挨　　拶	会　長	小池　保
	物故会員への黙祷	会　長	小池　保
1：55	歴代会長，創立会員への感謝状並記念品贈呈	会　長	小池　保
2：00	受賞者代表謝辞	直前会長	草野栄龍
2：05	記念事業目録贈呈	式典委員長	鈴木基一
	「意義ある業績賞」授与	ガバナー	江幡広松
2：10	祝　　辞	ガバナー	江幡広松
		分区代理	関　三郎
		特別代表	堀江　護
		県議会議員	平山正二
		町長代表	阿久津文一
	祝電披露		
2：40	閉会の辞	理　事	土山幸三
2：45	点　　鐘	会　長	小池　保
	閉　　式	司会者	関谷直人

◇祝　宴　の　部

とき　午後3.10〜5.00
ところ　割烹　いとう

3：10	開宴の辞	祝宴S.A.A.	室井行男
	ロータリーソング(我等の生業)	指揮	森　利男
3：15	挨拶	式典委員長	鈴木基一
3：20	乾杯	スポンサークラブ会長	大場甲子郎
	祝宴		
4：55	万才三唱		
	閉宴の辞	祝宴S.A.A.	室井行男
5：00	ロータリーソング(手に手つないで)	指揮	森　利男



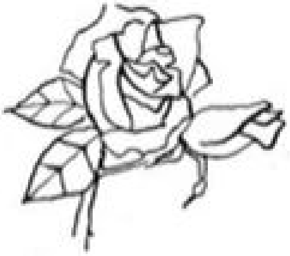
創立五周年記念式典

開会の辞

幹事 小 滝 信 光

本日は大変お寒いなか何かとお忙しいところ，江幡ガバナーはじめ御来賓の皆様には，ようこそおいで下さいました．

只今より国際ロータリー第３５５地区西那須野ロータリークラブ創立五周年記念式典を挙行致します．



経過報告

式典委員長　鈴　木　基　一

当西那須野ロータリークラブは旧臘十日をもちまして認証満五年を迎えました．本日茲に御来臨の皆様と共に記念祝賀の式典を挙げますことは真に御同慶に存じます．

本日は先ずクラブ創立の経過，次にクラブの現況につきまして御報告申し上げます．

1971年11月8日に当クラブ創立会員のロータリーに対する情熱並びに，スポンサークラブであります大田原ロータリークラブと，御援助を賜わりました宇都宮ロータリークラブの諸先輩の並々ならぬ御骨折によりまして漸く創立することになり，引続き12月10日国際ロータリーの認証を受け，日本で1084番目，県内で24番目のロータリークラブとして誕生した訳でございます．

これより三年前即ち1968年10月宇都宮クラブの金谷正夫パストガバナー，江部順治宇都宮クラブ初代会長，青木益治後の宇都宮クラブ二十代会長及びスポンサークラブの玉木，東郷，橋本，川上の諸先輩と懇談を続けまして，1969年１月20日に一度拡大調査報告書を国際ロータリー中央事務局に提出し，故川上安一郎先輩が特別代表に委嘱されたのでありましたが，その後約三年何等の進展もなく経

過してしまいました.

越えて1971年8月1日当時の滝沢信二ガバナー，当時地区幹事でありました坂本守パストガバナーが拡大の為来西されましたのを機に，クラブ創立の機運は急速に再燃致しまして，先刻申し上げました経過で西那須野ロータリークラブは創立された次第でございます

不肖私が初代，二代会長を勤めさせていただきました．続いて三代宮沢勝会長，四代鈴木伊勢松会長，五代草野栄龍会長，六代小池保現会長と続いております．その間歴代ガバナー，堀江護特別代表及びスポンサークラブの皆様には特段の御指導をいただき，私共常に感謝申し上げてある次第でございます．

地区関係につきましては，坂本ガバナー年度に栃木県内会長幹事会及び栃木県第一分区都市連合一般討論会のホストクラブを致し，その年度に不肖私が栃木県第一分区代理をつとめさせていただきました．地区委員と致しましては田中ガバナー年度に宮沢勝会員，現江幡ガバナー年度に鈴木伊勢松会員がその任にあたっております．

最初のガバナー公式訪問は1972年3月21日にクラブ生みの親であります滝沢ガバナーによって行われ，同席されました坂本地区幹事からも御指導をいただきました．第二回は仝年8月9日岩瀬ガバナーによって行われ，滝沢パストガバナーも同席され教示をいただきました．その際滝沢パストガバナーから「大概ロータリークラブと云うものは同じ様なクラブでありますから，このクラブにはここに特徴があるのだと云う特徴を作っておく必要があるのだと思いますこのクラブでは私は国際奉仕に図抜けていると云うふうにしたらどうかと思います」との示唆を受けたのであります．

その後クラブの皆様と相計り，私は直ちにアクションに移り，第５２４地区ローレンス・ライラガバナーに連絡，バイセリアロータリークラブのロイ・スミダ会長の諒承を得て，計画の策定連絡に当り，翌年度の1973年7月に地元高校生22名をバイセリアに送り交歓致し，1974年8月にはバイセリア市長夫妻，スミダ元会長夫妻等50名を当地に迎え会員宅にホームステイをなし交歓を致しました．昨

年度は両クラブ間に於て一年間２名宛の留学生を交換し，相互の理解を尚一層深めた訳でございます．本年度は来る６月のサンフランシスコ国際大会にクラブ会員家族20名以上で参加し，その途次バイセリアロータリークラブを訪問し，旧交を温めることになっております．来年東京での国際大会の折には先方より来訪願うべく訪問時に要請して参る所存でございます．

この一連の奉仕に対し，先年の石岡での地区協議会の席上「ガバナー賞」をいただきましたことは皆様のご記憶にあることと存じます．又この一連の奉仕事業につきましては本年度の国際ロータリーの「意義ある業績賞」に応募致しております．後刻御臨席のガバナーよりこの件につきましては耳よりなお話があろうかと存じます．

次にクラブの現況の２，３に就いて申し述べてみたいと思います．

先ず会員増強について申し上げます．会員の増強は順調でございまして，創立時27名の会員で発足致しましたが，現在はその倍の53名のクラブとなりまして，地区内の標準的なクラブ会員数と相成りました．

尚出席は良好でして５ケ年平均で98%強で，創立以来毎年出席優秀クラブとして地区の表彰を受けております．亦クラブ創立以来の皆出席者は10名を数えております．

ロータリー財団につきましては当クラブは累積額＄8513で，1700%に相成っております．ポール・ハリス準フェローは27名で会員の半数に達しておりますことは特筆に値すると存じます．

然し，米山記念奨学会に対する貢献度は低調ですので本日ここに記念事業の一つと致しまして，幾何かの御協力をさせていただくことに致しました．

クラブの刊行物と致しましては邦楽「奉仕の理想」のソノシート２周年誌「生い立ち」，高校生海外教室報告書，ロータリー心のかけはし，新会員用テキスト，都市連合一般討論会記録集，地区情報研究会記録誌，各年度ガバナー公式訪問記録集等を刊行致しております．会報は創立以来欠かすことなく発行し，263号となっております．

本日の会場が折角この中央公民館でございますので，お帰りの際にはこの前庭に建立されております「四つのテスト」の碑を是非ご覧いただきとう存じます．この碑は町当局の御好意によりまして，創立記念事業の一つとしてクラブで建立致しまして，昭和48年6月25日に除幕を致したものでございます．

厚き御指導をいただきましたガバナーはじめ諸先輩の皆々様には何卒御安堵をいただきます様，尚本日お見えになりませんでしたパストガバナーの皆々様にも宜敷くお伝えをお願い致しとう存じます．

挨　　拶

会長　小　池　　保

私達ロータリークラブの五周年記念式典が新春１月，大勢の御来賓をお迎えして盛大に行えますことは，まことに意義あることで御参会の皆様に改めて感謝を申し上げる次第です．

はからずも本日は，わが町が送った衆議院議員渡辺美智雄先生の国務大臣である厚生大臣に就任されました祝賀会を午前10時30分より那須郡市町村合同で，町の体育センターで行われると云う記念すべき日と重なりまして，会員並びに御来賓の皆様には大変お忙しかったと存じます．わがクラブの五周年式典が，厚生大臣就任祝賀式と同日であったと云うことは印象的な想い出となるでありましょう．

さて御案内申し上げました通り，わがクラブも昨年12月10日をもちまして，認証満五年を迎えましたことは，只今委員長から申されました通りでございます．

拙なき足どり乍ら漸やく基礎を固めることが出来ました事は，ひとえに創立当時の滝沢ガバナーはじめ，パストガバナー，ガバナーノミニーの御指導と各御要職の御教導及びスポンサークラブや，分区内各クラブの御協力の賜でございまして感謝にたえない次第でございます．

実は私が会長就任の年度始めには10年を期すつもりで，今年はささやかに内祝をする考えでありましたが，竹は低い根もと程節間も短かくそして太きものと先輩のお言葉もございまして，真にその通りであると云うことで俄かに準備にとりかかりました為に，何かと不行き届きの点が多々ありましたにも拘わりませず，遠方より江幡ガバナー始め多くの御来賓並びに諸先生には，私共ロータリークラブの記念式に馳せ参じて錦上花を咲かせて下さったことを心から感謝を申し上げる訳でございます．

私共会員一同終生忘れ得ぬ感激のもとに，今後のロータリー活動の目的でございます奉仕の機会を広く求めまして，各自職業を通じて，奉仕をしてゆく決意を新にしてある次第でございます．

かえりみますれば五年前の創立当時は先程委員長が申された通り27名であったわがクラブも，二年目には32名，三年目で47名，四年で48名，本年度新進気鋭の新会員７名を含めまして53名のメンバーになっておるわけでございます．発足六年目で２倍になっておる訳でございます．

本日江幡ガバナーから御伝達頂くことと存じますが，クラブとしては大変名誉ある「意義ある業績賞」が国際ロータリーに於て当クラブに授与されることに決りまして，マンチェスター国際ロータリー会長名の表彰状が送られて参りまして，本日ガバナーがお持ち下さった由を承りました．これは創立会長さんより代々の会長さんの計画並びに会員の活動と努力が認められた訳であると存じます．

今後は更に会員の増強に力を入れ乍ら，地域社会の人々にロータリーの存在価値が認識されるよう努力するものでございます．

先輩諸兄の尚一層の友情と御指導をお願い申し上げますと共に御来賓諸先生及び各ロータリークラブの益々の御発展と御多幸をお祈り致しまして甚だ簡単でございますが，私の挨拶にかえさせていただきます．

本日は大変有難うございました．

感謝状贈呈者

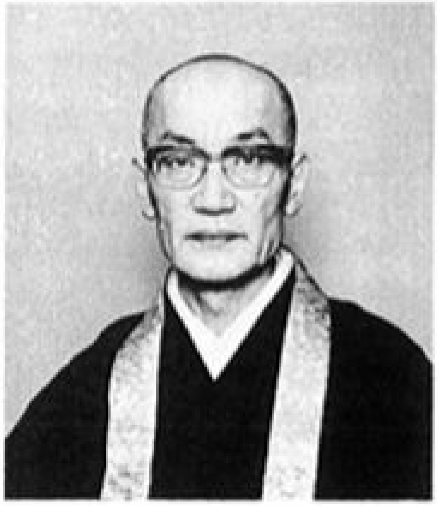
歴代会長

初代・二代会長	鈴　木　基　一
四　代　会　長	鈴　木　伊勢松
五　代　会　長	草　野　栄　龍

創立会員

福　本　治　夫	草　野　栄　龍
郡　司　昌　佳	三　森　重　保
伊　藤　甲太郎	大　塩　直　文
伊　藤　俊　三	鈴　木　伊勢松
小　滝　信　光	鈴　木　基　一
小　出　正　夫	手　塚　徳　次
小　池　　　保	吉　田　美　雄

受賞者代表謝辞



直前会長 **草 野 栄 龍**

只今は感謝状を頂戴致しまして真に有難う存じました．何も出来ませんでしたのに栄えあるお褒めの言葉を賜りまして心から厚く御礼申し上げます．

鈴木創立会長のあの情熱的な御尽力に賛同して，お仲間に入れていただきまして，創立会員と云う名目をいただきました．そして創立会員なるが故に早目に会長を勤めさせていただきました．多士済済と申しますが，有能な会員を多数抱えます吾がクラブにありまして，先輩諸兄を凌いで先に会長職を穢しまして真に恐縮の次第でございます．

本日はお見えいただけませんでしたが，三代会長の宮沢勝さん，また塩川兵三郎さん，林美知三さん，大野尚一郎さん，藤森武雄さん，井上純一郎さん，亡くなられた渡辺弥八さん等々の諸兄は当時の重要メンバーとしてお骨折りをいただいた方々であります．

近くは羽石さんと植竹先生のよんどころない御退会によりまして随分大きな穴があいてしまいました．

チャーターメンバーでございませんが，余りにも時間的に御無理で退会された平野先生,川上先生御兄弟,想い起せば夫々吾がクラブ

の創生期のある時期のある時点で，その時の重要な役割を演じて下さった方々です．有形無形に大切なお力添をいただいて，今日の記念式が挙行出来ましたことを厚く御礼申し上げます．殊に御任期があって御栄転なさる金融関係の会員さんには会計の重要な任務を御担当願って居りますが，久保さん，梨本さん，奈良部さん，塚原さん，清水さん，本当に御苦労をいただきました．

これが僅か五ヶ年間の出来事かと思われる程懐しいお名前が眼前に浮んで来，去来致します．現有勢力53名の会員諸賢の御尽力は勿論，退会された方々の御努力も大いにプラスされましたことを心から感謝申し上げる次第でございます．

直前会長に花を持たせて謝辞を述べさせろと特に御指名をいただきました．その直前会長の功績たるや真に奇妙な価値づけでございまして，役員さんや各委員長さんが非常に進歩的な，独創的な，献身的な御奉仕をして下さいましたものですから，私はお助けをいただいて……そうさせた事がお前の手柄であると云うような大変入り組んだお褒めの言葉をいただきました．

交換学生さんのことは福本君がお骨折り下さいました．各奉仕部門はもとより，親睦やＳＡＡに至っては新機軸をどんどん，本塁打をかっとばして下さいました．又塩原の会員諸兄が全く内ぶところに飛び込んで下すって，融和御協力をいただきましたことは大変大きな収穫でございます．これが無かったならば地区の大きな行事を二つも，ホストクラブという重要なお役目をお受させていただく事などは出来なかったと思います．古山幹事の労を多と致します．

万々御礼を申し上げまして，謝辞にかえさせていただきます．有難うございました．

記念事業資金贈呈

米山記念奨学会

アジア学院

ボーイスカウト那須13団
ボーイスカウト那須14団
ガールスカウト栃木２団

身体障害者西那須野支部
身体障害者塩原支部

「意義ある業績賞」授与

ガバナー **江　幡　広　松**

先程経過報告で御説明がありましたアメリカ，カルフォルニア州パイセリアロータリークラブと友好関係を樹立したと云うことについて，国際ロータリーの会長から本年度の「意義ある業績賞」に認定すると云うことで認定書が私のところに到着致しましたので，本日ここで会長さんにお渡ししたいと斯様に思います．

祝　　　辞

ガバナー　江 幡 広 松

本日私は水戸から参ったのですが，7時半の汽車に乗るのに水戸は相当に雪が降っておりまして，そうですね笠間あたり迄降っておりました．本当に寒いのではないかと思って伺いましたところ，割合にそれ程でもなかったと云うことでございます．

西那須野ロータリークラブは5周年を迎えた訳であります．その間会員各位は非常に仲好く，そしてロータリーの勉強をしまして，短期間ではありましたが色々な業績を残したのでございます．只今御紹介申し上げました米国カルフォルニア州のパイセリアロータリークラブとあらゆる困難を排して親善関係を結んだと云う無上の光栄で，これを国際ロータリーの会長から本年度の「意義ある業績賞」に認定すると云うようなお知らせが参ったことで，本日皆さんの前で，多くのお客さんの前で，この無上の光栄を御披露出来ると云うことは皆さんと共に真に御同慶の至りであると思うのでございます．

さてロータリーの目的でございますが，人種とか，或いは宗教とか，言葉とか，国境を越えて広く友情を求めると云う事，これが目的でございます．最近はロータリーの目的を奉仕と云うふうにとらえておるのが一般通念のようでございますが，奉仕の手前には必ず

友愛，親睦があると思うのでございます．国際ロータリーは御承知の様に最初は少数の人々の親睦と云うことで出発を致しまして，これを社会一般に広めた結果奉仕が表われて来たのでございます．対価を要求しないところの奉仕がなくて真の愛情と云うことは生れないのであります．左様なことでロータリーに於きましては徹頭徹尾と申しましょうか，親睦と云うのが骨格をなしておるのでございます．各クラブに於きまして先ず親睦，その親睦と云うものに奉仕と云う筋肉をつけて，その活動に移すと云う事で，情報と云う血を流すわけでございます．それがロータリークラブでございます．左様な事でロータリークラブに於きましては職業人の団体でありますけれども，商工会議所やその他多くの同業者団体と非常に違うと云うことをご認識願いたいと思うのであります．奉仕を目的として団結しておる慈善事業団体とも違うのであります．

今の世の中で心ある人は，特にロータリー関係では，ロータリーは寄附団体ではないと云うことを喧しく警告を発している方があるのでありますが，それはその通りであります．ところが人間と云うものは，どうも形とか表に現われたところにとらはれ易いと云うことで，勲四等は勲五等よりも偉いんだと云う考え方をお持ちになりますか知れませんが，そうじゃないんだ，みんな同じなんだ，真心から出ておる結果は同じであると云うふうに私は考えるのであります．左様な事で慈善事業の規模とか，或いは寄附の金額でロータリーを評価しようとするのは甚だうまくないのであります．そお云うことで他の慈善事業団体と競争する，功を争うと云う必要は更にないのであります．この点を私は特に本日は申し上げたい，左様なことで私達は毎日毎日研修相努めておる訳でございます．そお云うことでロータリーには入学式はあっても卒業式は無いと云われるところであると思うのでございます．ロータリーは活動であります．従って西那須野ロータリークラブとしては毎日何処かで，このロータリー活動が行なれていると致し度いのでございます．幸にこのクラブは先程の意義ある業績賞に選定されたと云うようなことで，更に

出席率も非常に良く，財団の寄附率も立派であると云うことが御報告ありましたけれども，真に結構なロータリークラブであると私は思うのでございます．

少し話を滑らしまして，どうも今のロータリークラブと云うのは先程も申し上げました様に規模の大きさとか，金額の大きさ，或いは表に現われたものとかで競っておることは適当でないと云うことを申し上げましたが，ところが反面に於ては先程申き上げましたように出席率をどうこう云うとか，或いは各地区間で出席率を競争をしておると云うようなこともあるのでございます．先程も申し上げましたように出席がなくては親睦も得られない，或いは活動に移される情報も得られません．所詮奉仕という命題はなおざりになってしまいます．従って出席と云うことは非常に大事であると云うことを申し上げたいのでございます．ところが出席のみに於てそれを強化して良いであろうか，出席の良い人が果して立派なロータリーンであろうか，そうばかりもいかない，然乍ら逆にして立派なロータリアンは，えてして出席率が非常によいと云うことは事実でございます．もう一つロータリークラブの組織を比較する時にはその目的から云って，やっぱり出席率と云うことが大きな物差になると云うことを考えるのでございます．

先程申し上げましたようにロータリークラブと云うものは親睦団体であります．従って除名と云ううようなものは無い訳であります．職業分類と云うような枠はありますけれども，これとても，例えばパストサービス会員とか，シニアアクティブ会員とか，或いはアディショナル会員とかある程度の緩衝があるのでございますが，所詮結局は会費の納入と出席が動かすことの出来ないロータリアンとしての根本的な資格であり，条件であると云うふうに考えられるのであります．お目出度い席で出席率のお話を申し上げましたが，斯様な意味で今迄の立派なこのクラブの業績を土台として，これから益益誇をもって活発にロータリー活動に邁進されることをお願い申し上げる次第でございます．

尚「意義ある業績賞」に関しては，この町の町長さん又地域社会各層の皆さんからの色々な御協力をいただいたと云う御報告を私は受けておるのでございます．この意義ある業績賞の認定と云うことについて，その皆さん方の御協力に対するほんの恩返しの一部にしたいと斯様に考えておる次第でございます．

ながながと申し上げましたが，以上私のお祝いの言葉に致したいと存じます．有難うございます．

祝　　辞

分区代理　関　　三　郎

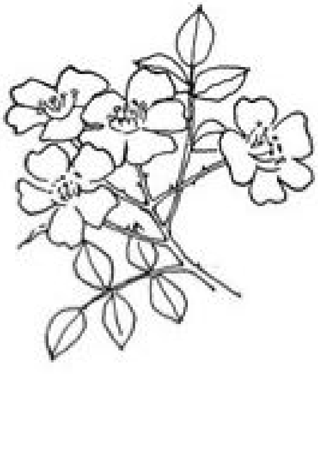
本日五周年をお迎え致しました西那須野ロータリークラブの皆さんには心からお喜びを申し上げますと同時に，この満場に集りました来賓の皆さんと共に心からお祝辞を申し上げます．

先程鈴木委員長さんからご報告のありましたように西那須野ロータリークラブは昭和46年12月10日国際ロータリー加盟以来僅か五年ではありますが，その間歴代会長の方針のもとに各会員並びにご夫人と共に一丸となって，ロータリー活動に邁進されました．特に国際奉仕部門には特段の功績を得られまして，我々真に敬意を表するものでございます．

世界は一つであると云う願いは，世界各国の人々が共に願うところでございますが，その希望は程遠いものがございます．然しロータリアン丈は世界は一つでございます．この素晴らしい偉大なる奉仕，ロータリアンの世界，この世界の大理想に向って西那須野ロータリークラブは，一歩一歩しかも着実に邁進されましたことに私達は心からの敬意と賞賛を贈るものでございます．又本日の式典を機にしまして，明日の飛躍の跳躍台とされまして，更に一歩一歩国際親善に邁進されるようにお願い申し上げる次第でございます．

尚，小池会長のもとに今後ロータリーを通じまして，地域社会の貢献と国際親善の目的に邁進されるよう特にお願い申し上げる次第でございます．

終りに臨みまして西那須野ロータリークラブの輝かしい未来と会員の皆さん御家族の皆さんのご健康ご多幸をお祈り申し上げまして甚だ簡単でございますがご祝辞にかえる次第でございます．本当にお目出度うございます．



祝　　辞

特別代表　**堀江　護**

毎年創立記念日におまねきにあづかりまして有難うございます．

本年は特に五年間の間にかくかくたる業績を残され五周年を迎えられました、今日祝辞をとのことですので日頃からクラブについて感じておることがございますので，その一端をお話いたしたいと思います．

本日残念なのは坂本さんがお見えになられない．当時の地区幹事でありましたので色々お教えいただいたものでございます．おいでいただけたら色々なお話をうかがえたと思います．

それから滝沢パストガバナーもお体が悪く御欠席で本当に残念に存じます．ガバナーご任期中最初に出来たクラブで，ガバナーにとりましては生涯忘れ得ないことだろうと思います．今日居られましたら本当に喜ばれて御祝辞を頂けたことだろうと残念でなりません．

西那須野町は地域的にも色々な面で発展しつつありますが，町長さんもよく言われます「住み良い町」「住みたくなる町」にする為に色々と努力しておられますが，そう云う面の一端をロータリークラブでやってゆきたいと思う訳です．

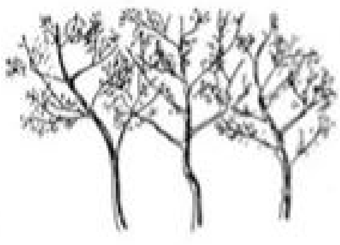
ここのクラブは日頃，私は敬服しておるのですが，発足当時から

特色のあるクラブと云うことで，特に国際的意識を高めるために，この舞台にも万国旗が飾られてあります．どこのクラブに行っても常時例会場に万国旗を掲げているクラブなどはありませんでしょう．国際奉仕，そう云う面に特に力を入れておる，ロータリークラブは折角世界的なクラブなのですから，そお云う事で四大奉仕部門の内国際奉仕部門に力を入れ特色あるクラブとして，この五年間非常に発展しまして今日に至っております．

只今国際ロータリー会長からの表彰を受けられましたけれども，国際的活動と云うと先ず言葉が困るのです．幸いこのクラブは英語に堪能な方が居られ，普通のクラブでは出来ないことをやってこられ，それを克服して発展して来ました．真に良いところに着眼され特色のあるクラブで羨しい限りです．

それから私自分のクラブで申して居りますことですが，会員個人が色々な職業を通じて奉仕をしている姿を，もっとお互いに発表し合ったらどうだろうと提案しているのです．仲々実行されません．勿論国際奉仕に限りません，個人的な職業奉仕であっても充分発表に値することは例会場で発表すべきであると提案しております．

今後もこちらのロータリークラブが国際的に友情を深める，或いは国際親善を計ると云う特色のあるクラブとして，益々御発展下さるようにお願い致しまして，お祝辞といたします．どうも有難うございました．



祝　　　辞

県会議員　**平　山　正　二**

渡辺大臣と共に矢板の会場の方に同行致しておりました．幸い大臣と車中でロータリークラブの五周年式典の話など致しまして，大臣も出席出来ないので非常に残念であると云うことを伺って参りましたのでお伝へ致します．

西那須野ロータリークラブが出来ると云う話を聞いておったのでありますが，それからもう五年と云う歳月が流れたのであります．

ロータリーの精神でありますところの奉仕の色々な実績が数多くこの社会に投入され，色々な素晴らしい実績を挙げて，今日に至っておりますことに対しまして心から敬意と感謝を申し上げるものであります．

御承知のように高度経済成長の中で物の力が，物質文明の力がどんどん高くなって参りまして，これでもかこれでもかと物の面が大変強く打ち出されて参りましたけれども，残念乍らそれと反比例して心の面では極めて寂しい状態が沢山現出されておるのであります．毎日の新聞やテレビやラヂオを賑わしております忌ましい問題が，沢山ございます．殺伐とした日本に或いは世界の中に，砂漠の中にオアシスがある様に，心豊かな状態がどうしたら出来るだろう，こ

れは心ある多くの者が常に考えておることだと思うのですが，砂漠の中に見いだしたオアシスのように潤のある心豊かな姿が，とりも直さずロータリアンの皆様によって一つ一つ出現させていただいております．私は真に意義の深い有難い団体であると考えておるのであります．今日の社会が渇仰しているものが，皆様の力によって，皆様の手によって成しとげられるならば，現在の日本にとって救世主のような役目を果たすであろうと大いに期待をし，その実績に対して重ねて感謝を申し上げるものでございます．

特に亦色々な集りにつきましても，ロータリアンの皆様は何時も御夫婦揃って一つ心になって，色々な事業を進めていって下さる．これはなんと云っても，世の中を明るく良くするには，これは家庭から先ず作り上げてゆかなければならない，そこから第二の日本を背負う国民が，私達の子供が，良い家庭から良い子が出来てくるのは，これは当り前でありますから，その意味からも意義の深い団体であると考えておるのでございます．

どうぞ今後共この会が益々充実して，そして私達人類が念願しておりますところの明るい社会の実現，心豊かな日本を造りあげる原動力になっていただきますように心からお願いを申し上げ，又日頃の奉仕精神にもとずく奉仕の活動に，物心両面に亘る大変な力を注いでいただいておることに感謝を申し上げまして卒辞ではございますが，お祝いの御挨拶にかえさせていただきます．今日は本当にお目出度うございました．

祝　　辞

町　長　**阿久津　文　一**

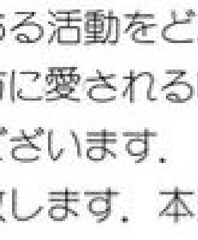
西那須野ロータリークラブ五周年記念式典の，御招待にあづかりまして有難うございました．もうあれから五年を経ったのかなあと云う感概をおぼえます．今から五年前ですと，まだ景気も好かったですね．最近はあの当時からみますと，先程もお話がありましたように，中だるみではなくて落ち込みであると云われています．などと云うよりむしろ私はこれが本当のところではないかな，本当の景気ではないかなあと考えております．と云うのは前も景気が良い時使い捨てだとか，消費が美徳だとか，そお云うことがさかんに云われた訳であります．然し有限の世界で使い捨て等云うことが許される筈が無い，だから前の好景気と云うのは間違い景気だったのだな，異常だったと考える訳です．そうすると現在の景気こそ正常なものだと考えても決して間違いではないのだと考えておる訳です．最近の株価の動きをみましても，そんなに動きは無いですね，ですから今が当り前なのだ，ある会社の社長と先日話をした時に1900年代に好景気と云うような，昔のような景気になる事は絶対に無いよと云うことを云われまして，そうだろうなと感じた訳でございます．

昨日廻って来た書類を見て非常にショックだったのでロータリー

で話をしようと思って写して来たのですが，サイシバーバーと云うどこの人か知りませんが，この人が云っておる事が実に凄い「日本は自由社会の経済大国から確実に脱落してゆく．そして頭でつかちの足腰の弱い三等国になること必至である．この運命を切り開くには，日本人の精神は余りにも荒廃している』と云うことが載っていたのであります．我々も近頃の日本の情況を見ますと，若い人達も自分のことだけを考えて他のことは何も考えない．自分だけ良ければ，自分だけ助かれば，自分だけ出世をすれば，と云うようなことしか考えていないのではないか，と云うように思う訳であります．昨日米国の大統領の就任演説が載っておりましたが，物質本位で今迄考えておったけれども今後は精神的にゆかなければいけない，と云うことをさかんに強調しておるようでございます．吾が国に於てもサイシバーバーと云う人の言葉をそのまま受け取る必要もないでしょうけれども，確かに現在の精神面に於てはどうも面白くない点が非常に多い，精神面をたて直さなければならないのではないかと云うことを強く感じる訳でございます．

ロータリーの友愛，先程のガバナーのお話を聞きますと，簡単に云いますと輪と云うことかなと感ずる訳でありますが，この輪をぐんぐん拡げて27名が53名になった，倍になったのですから，これから五年経ったら百人になる様に魅力のある活動をどんどんやってもらいたい．そして西那須野町も皆さん方に愛される町になるように是非力添えをお願いしたいと思う訳でございます．

五周年に当りましてお祝いの言葉と致します．本当にお目出度うございます．



祝電並びに祝詞

創立五周年を祝し，ご発展をお祈り致します.

厚生大臣　**渡　辺　美智雄**

栄えある五周年式典をお祝いし，今後のご発展をお祈り致します.

パストガバナー　**小　野　康　平**

創立五周年祝賀式典に出席出来ませんので残念です．今月一杯は退院出来ませんので無理せずに病床より遥かに祝賀の盛会をお祈りいたします.

パストガバナー　**滝　沢　信　二**

閉式の辞

理事代表 土 山 幸 三

本日は江幡ガバナー，関分区代理，堀江特別代表，各クラブ会長並びに御来賓の皆様のご参加をいただきまして，ここに西那須野ロータリークラブ創立五周年記念式典を盛大に行い得ましたことを心から御礼を申し上げます．これをもちまして式典を終らせていただきます．

創立五周年記念祝宴

挨　　拶

式典委員長　**鈴　木　基　一**

本日ここに西那須野ロータリークラブ創立五周年記念式典を挙行致しましたところ，ガバナー始め御来賓多数の皆々様の御臨席を賜わり，且つ心温まる御祝辞言葉をいただき，恙なく式典を終了することが出来ましたことを心から御礼を申し上げる次第でございます．

創立前に江部大先輩が90歳近くの御高齢で単身電車で十日に一度の割で当地を訪れ，ロータリーの種をこの地に播かれ，ロータリーの拡大を計られた御熱意，当クラブで「おやじさん」と呼びクラブの生みの親でもあります滝沢パストガバナーも折に触れクラブを訪れて下さいまして種々なる御教導示唆を賜りました．

これに答えるべく創立時の吾々一同は地区大会にも，Ｉ．Ｃ．Ｇ．Ｆ．にも全員揃つて一名も欠けることなく出席致しまして，熱意には熱意をもちましてお答えしたのでありました．

創立間もない1972年10月８日新潟で開催されました第355－356地区連合年次大会に於きまして，私は参加125クラブを代表致しまして挨拶を申し上げる機会がございました．その折「……新しいクラブには歴史も無く，これと云う実績もございません．然し吾々にあるものは奉仕の活動に邁進しようとする心意気でございます」と云うことを申し上げたのでございます．すぐそばにおられましたウィルバーＦ．ベル国際ロータリー会長代理も非常によろこんで下さいまして，握手を求められました．以来クラブには脈々としてその熱

意，熱情は保たれておるのでございます．

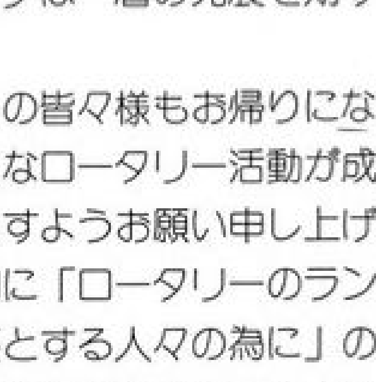
行動と云うことがロータリーに於て極めて大切で，一日の停滞も許されない事であると云うことを教えられ，勉強して来たのがこの期間でございました．奉仕する者は行動しなくてはなりません．而もその行動は思いやりのある行動であり，心がこもらなくてはなりません．これこそ奉仕の基盤であると存じます．

先程式典の席上栄えある「意義ある業績賞」の伝達がございまして，本日の式典に錦上華を添えていただくことが出来ましたことは真に喜しいことでございます．この賞は吾々の今日迄の奉仕が地区ガバナーによって認証され，国際ロータリーによって公に認められた証でございます．ロータリーの創始者ポール・ハリスの申されました「ロータリーの偉大さはその将来にあり，その過去にあるものではない」と云う言葉を嚙みしめまして，今後の五年，十年に向って，この栄与に恥じない奉仕を続けなければならないと存じます．五年の歳月を経て，玆にクラブは一層の発展を期すべき節に当面しておるのでございます．

どうぞガバナー始めゲストの皆々様もお帰りになりましたら，西那須野クラブの様子，真面目なロータリー活動が成果を挙げつつあると云う事をご報告下さいますようお願い申し上げます．

私共はこの式典の感激を胸に「ロータリーのランプをも少し高く掲げよう，そのランプを必要とする人々の為に」の言葉を合言葉に今後は更にロータリーの発展の為に邁進する決意でございます．

本日は皆様本当に有難うございました．



乾　　杯

スポンサークラブ会長　**大　場　甲子郎**

大田原ロータリークラブの大場でございます．この度は西那須野ロータリークラブの栄えある式典に乾杯の音頭をとらせていただきまして，真に有難うございます．

大田原ロータリークラブの皆様を代表致しまして乾杯の音頭をとらせていただきます．

西那須野ロータリークラブが数多くの業績を挙げられまして，目出度く五周年記念が先程終った訳ですが本当にお目出度うございます．

これから益々西那須野クラブが御発展するように，又会員の方々今日御列席の皆々様の益々の御多幸をお祈りして乾杯致します．

どうもお目出度うございます．

来賓御芳名

R.I.第355地区ガバナー	江幡広松殿
栃木県第一分区代理	関　三郎殿
創立時特別代表	堀江　護殿
烏山ロータリークラブ会長	辻　重明殿
大田原ロータリークラブ会長	大場甲子郎殿
黒磯ロータリークラブ会長	矢口　晃殿
氏家ロータリークラブ会長	野中　孝殿
矢板ロータリークラブ会長	篠崎　晴殿
馬頭小川ロータリークラブ会長	山田　豊殿
黒羽ロータリークラブ会長	江崎博夫殿
栃木県議会議員	平山正二殿
西那須野町長	阿久津文一殿
西那須野町助役	市原友吉(代)殿
西那須野町教育長	植竹徳重殿
西那須野町議会議長	永岡兼好殿
西那須野ライオンズクラブ会長	阿久津寿一殿
アジア学院副院長	菊池　創殿
ボーイスカウト及びガールスカウト代表	菊地壮治殿
大野州新聞編集長	石田　清殿
会友	清水俊夫殿

参加者名

青山　栄一郎
江連　和雄
福本　治夫
古山　正
〃　寿子
蜂巣　栄
〃　道子
広瀬　久
井上　正夫
伊藤　甲太郎
伊藤　俊三
石川　耕蔵
片股　孝一
加藤　信夫
金子　哲也
君島　隣
君島　久造
君島　六郎
小林　正一
〃　ミチヱ
小出　正夫

中里　正
〃　和子
大塩　直文
〃　ひろ子
大武　春雄
岡部　稔
〃　瑞穂
斎藤　豊吉
佐々木　照雄
佐藤　悦郎
沢口　鎌三
関谷　直人
下平　清人
〃　芳江
城田　正男
相馬　順一
鈴木　伊勢松
鈴木　基一
〃　たま恵
高橋　正男
田辺　祐功

〃　久江	手塚徳次
小池　保	戸田白鳳
〃　トミ	〃　千代子
小滝信光	冨野和之
草野栄龍	〃　二三子
〃　頼子	土山幸三
三森重保	〃　トヨ子
宮　利夫	鶴見友次
森　利男	渡辺陸男
〃　フミ	山口正春
森　透	〃　清子
室井行男	吉田美雄

3

寄　稿

ー5周年に寄せてー

深遠なロータリー

直前ガバナー　**坂　本　　　守**

昭和46年12月10日に誕生した西那須野ロータリークラブが，五周年を迎えて，この度，盛大な記念式典を催されるに当り，会員諸君並にお家族の皆さんに心からお祝いを申し上げます．

当時，滝沢ガバナーの積極的な御指示により，共にキーメンのお宅に伺って，いろいろとお話合いをしたこと，スポンサークラブである大田原ロータリークラブでの打合せのこと，又創立総会には，今は故人となられた小山の江部大先輩も列席され，終了後は千本松牧場で焼肉のご馳走にあづかったことなどなど，つい昨日のことのように思い出されますが，あれからもう五年の歳月が流れたとは，まことに月日のたつのは早いものです．

27名で発足した会員も，現在は53名と２倍に成長し，年度末には更に60名になる予定と承り，立派な会員増強ぶりに驚歎いたしております．

私は何故か，新クラブ誕生の際お手伝いをさせて頂く機会に恵まれまして，県内27クラブ中，県北を主とした12のクラブのお手伝いをいたしました．当クラブの発育振りは目覚しく，会員諸君のロータリーに対する理解と積極的な活動は先輩クラブを凌ぐ実績を示しておられ，私は非常に嬉しく心強く思いおります，と同時に会員諸君に対し満腔の敬意を表するものであります．

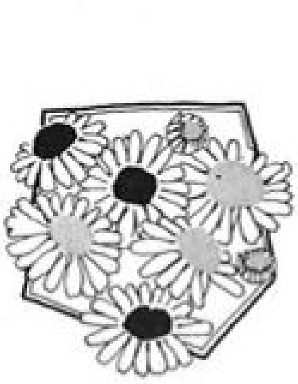
クラブが周年の行事を行うことは大変有意義なことと思います．これからも次々と催されることでありましょう．そうした祝典の際には，唯いたづらに祝酒に酔いしれるのみではなくて，どうか冷静な反省を，いつも忘れないで頂きたいのです．これが将来への飛躍の基になるものと信じます．

70有余年を経たロータリーは世の中の変遷と共に，常にルールや

組織の改訂を行いつづけてまいりました．クラブも亦そうあらねばならないと思います．「奉仕の理想」の信念は不変であっても，その顕現，達成の方途については常に新たな要求が生じてくるでしょう．其の都度注意深く之に対応せねばならないと思います．

深遠なロータリーの人生哲学を探求することは自己練磨に他ならないものと確信します．切磋琢磨することにあります．会員同志お互に人づくりに励むことであります．立派な会員で構成されているクラブは立派なクラブであります．

そして又立派なクラブは立派なロータリアンを育て上げてゆくものです．西那須野クラブの皆さん，皆さんの愛し育てて来た皆さんのクラブをどうか大切に末永く守りつづけ発展させて下さるよう祈ります．



創生期のひとこま

会員 **福本治夫**

昭和46年8月1日鈴木基一先生よりお電話をいただき，すぐ先生のお宅にお伺い致しましたところ，その年度の滝沢信二ガバナーと坂本守地区幹事，それに地元から伊藤甲太郎氏がいらっしゃいました．

滝沢ガバナーが国際ロータリーの国際協議会に出席し，その途次にエバンストンを訪問された際，国際ロータリーの中央事務局東半球部長から「三年前第３５５地区から拡大調査報告書の提出のあつた西那須野クラブはその後どうなっているか」との質問を受けたとか．出発前にその詳しい話を承っていなかったので，即座には明確な返答が出来なかったので，その経過をきく為に公式訪問のさ中，御多忙のところを，西那須野までお揃いにて訪問下さった事を，鈴木先生から承り，その後滝沢ガバナーとの懇談に這入りました．

これからどの様にして国際ロータリーに加盟するかを御指導を仰ぎ，又滝沢ガバナーは懇切叮嚀にスポンサーであるところの大田原クラブとの関係，或いは第３５５地区との関係等について御指導下さり，何とかガバナーの任期中に加盟が出来るようにと，熱意ある御指導御助言をいただきました．

それが終って鈴木夫人のお心のこもったお食事を頂戴致しつつ，暫くの間ガバナーを中心に鈴木先生のお宅で懇談を共にした創生期の思い出．

その時の鈴木先生のロータリーに対する熱情が，昨日の様に脳裡に浮び，それと同時に，今も変らず先生の情熱がロータリーの上にあることを思うのであります．

又，滝沢，坂本両大先輩とのめぐり逢いが，今日の西那須野クラブの姿になったことを心から感謝を捧げるものであります．

4
クラブ小史

クラブ小誌

1. 例会及び行事

1971年

月＼日	8日	11日	16~17日	20日	30日
11月	クラブ創立総会 於、足銀支店 祝宴、千石松レストハウス	4クラブ合同例会、 於、太田原 岩井屋	355 地区年次大会 於、栃木会館 27名全員出席	クラブ協議会 於、西那須野 信用組合	地区大会報告
月＼日	7日	14日	21日	28日	10日
12月	ガバナー卓話 ロータリーについて 滝沢信二	地区大会 部門別協議会報告	外来卓話 戦後の教育 町教委 植竹徳重	外来卓話 出席について 玉木徳次郎	認証さる 28日ガバナーより伝達さる。

1972年

月＼日	4日	11日	14日	18日	20日
1月	会員卓話 小さな善意 三森重保	外来卓話 米国語学研修 西中 白石久夫	宇都宮R.C.20周年式典 鈴木基一会長出席	新年懇親会 於. ホテルニュー塩原	宇都宮西R.C. 10周年式典 鈴木基一会長及び藤森武雄幹事出席
	25日				
	外来卓話 健康法について 太田原保健所長 大高豊正				
月＼日	1日	8日	5日	15日	18日
2月	会員卓話 愛の切手 鈴木基一	外来卓話 那須野の古代文化 小川 関根顕英	第1分区I.C.G.F. 於、栃木会館 25名全員出席 最高出席率賞受賞	外来卓話 生け花の心 草月流師範 坂本柳友	クラブ協議会 於、中央公民館 チャーターナイト及び会員増強につき
	22日	29日			
	外来卓話 R.I.について 堀江護	会員卓話 成人式を迎えた子と親 小池保			
月＼日	7日	14日	21日	28日	
3月	クラブ年次総会 次年度理事選出	外来卓話 社会奉仕について 戸辺隆	ガバナー公式訪問 於、足銀支店 滝沢信二ガバナー 坂本守地区幹事 東原清一分区代理 堀江護特別代表	会員卓話 腰痛について 大塩直文	

月＼日	4 日	11 日	18 日	25 日	27 日
4 月	外 来 卓 話 町の青少年の実態 中公館長 市 原 友 吉	外 来 卓 話 蛾虫について 高 橋 安 雄	外 来 卓 話 東南アジア農村指導者の現況 アジア学院 菊地 創 観 桜 会 於，千本松 レストハウス	外 来 卓 話 シドニー大会出席 石和田 幸 一	桐生西R．C． チャーターナイト 16名出席
月＼日	2 日	4 日	9 日	16 日	23 日
5 月	外 来 卓 話 東南アジア農村の現況 アジア学院長 高見敏弘 留学生10名招待 琴演奏 君島玉寿絵	クラブ協議会 チャーターナイトについて 於，永田公会堂	外 来 卓 話 白河R．C．創立の動機 片倉義夫 南洋諸島来訪者 招待３名	クラブ協議会 チャーターナイト について	クラブ協議会 チャーターナイト について
	26 日	28 日	30 日		
	次期会長幹事会 於，宇都宮マスキン	太田西R．C． チャーターナイト ４名出席	ガバナー卓話 滝 沢 信 二 於，ホテルニュー塩原		
月＼日	4 日	13 日	20 日	24〜25日	27 日
6 月	認証状伝達式 於ホテルニュー塩原 ８地区 55R．C． 545 名登録	外 来 卓 話 特殊教育について 検 井 一 俊	ガバナー卓話 奉仕の冒険 滝 沢 信 二	地区協議会 於，土浦京成ホテル	最終例会 役員挨拶
月＼日	4 日	11 日	18 日	25 日	
7 月	新年度会長挨拶 鈴 木 基 一	外 来 卓 話 ラリラン 南 宮 在 憲	外 来 卓 話 日本の印象 スタンレーグン （オハイオ州）	会 員 卓 話 「動き」について 草 野 栄 竜	
月＼日	1 ˋ日	9 日	15 日	22 日	29 日
8 月	外 来 卓 話 Rー精神について R．1，358地区P．G． 松 方 三 郎	ガバナー公式訪問 岩瀬主一ガバナー 滝沢信二P．G． 辻由兵衛区分代理	D．524 ローレンス L．ライラガバナー を通じパイセリア R．C．との友好	会 員 卓 話 日常生活の体力 づくり 大 塩 直 文	会 員 卓 話 ロータリーあれこれ 梨 本 欣 司
月＼日	5 日	12 日	19 日	19 日	26 日
9 月	会 員 卓 話 誕生日によせて 伊藤、羽石、小出	外 来 卓 話 伝統染色について 国画会 下 平 清 人	会 員 卓 話 世界理解週間 鈴 木 基 一	分区会長幹事会 於，宇都宮 鈴木（基），小出	会 員 卓 話 R．情報について 宮 沢 勝
月＼日	3 日	7〜8日	17 日	24 日	31 日
10 月	クラブ協議会 パイセリアR．C． との友好について	355ー356連合地区 年次大会 於，新潟県民会館 参加クラブ代表挨拶 鈴 木 基 一 ６名出席	連合地区大会報告 鈴木（基） 草野栄竜 W．E．ショアー	クラブ協議会 四つのテストの碑 一周年記念式に ついて	会 員 卓 話 信仰について 草 野 栄 竜 福 本 治 夫

月 日					
	7 日	14 日	21 日	28 日	
11 月	創立一周年記念式、 於．足銀支店 祝宴．昭和亭 滝沢信二P.G.夫妻 辻由浜区分代理 堀江護特別代表	クラブ協議会 四クラブ合同 例会について	外 来 卓 話 電力事情について 東電太田原所長 金 子 直 正	外 来 卓 話 タイの癩患者の現況 ポイトン、シーダン グチアン（タイ）	
	7 日	12 日	19 日	26 日	
12 月	四R.C.合同例会 於．矢板 千寿苑 卓話．明治以降の 貨幣 村 井 敬 爾	パイセリア地方の スライド上映 ショア夫人	会 員 卓 話 高橋幼博士よりの 贈書 鈴 木 基 一	外 来 卓 話 児童相談について 県北児童相談所 三 井 所 長	

1973年

月 日					
	5 日	9 日	16 日	23 日	30 日
1 月	会 員 卓 話 年頭所感 三森、伊藤（甲） 塩川	会 員 卓 話 入会して 宮沢（四）、斉藤、 相馬	新年家族会 於．ニュー塩原 会 長 挨 拶	会 員 卓 話 雑誌週間掘本，入社 の頃 堀本	クラブ協議会 各委員会の活動 計画
	6 日	13 日	15 日	20 日	27 日
2 月	会 員 卓 話 西那須野に移住の頃 平 野 節 夫	会 員 卓 話 韓国旅行 鈴 木 伊勢松	第1分区会長幹事会 於．太田原 I.C.G.F. について	会 員 卓 話 R.I．創立記念日 によせて 小滝、井上、ショア	会 員 卓 話 新会員が望むもの 久 保 浩 「最も重要な人物」 第一部上映
	6 日	13 日	20 日	27 日	
3 月	クラブ年次総会 次年度理事選出 於．松楓荘	外 来 卓 話 韓国を旅して 渡 辺 令 一	「最も重要な人物」 第二部上映	外 来 卓 話 ラオス見聞 根 岸 範 子	
	3 日	8 日	10 日	17 日	24 日
4 月	高校生海外教室 結団式 団員22名 引率者3名	第1分区I.C.G.F. 於．大田原文化会館 34名出席 職業奉仕サブリーダー 宮 沢 勝	会 員 卓 話 結婚時の想い出 羽 石 美代治 林 美知三 三 森 重 保	外 来 卓 話 最近の交通事故 大田原警察署 神 山 係 長	「最も重要な人物」 第三部 上映
	1 日	4 日	8 日	15 日	18 日
5	会 員 卓 話 仙台南R.C.を訪問 して 鈴 木 基 一	ローザンヌ世界大会 出席 4名 小池保、伊藤(甲)、 渡辺、鈴木(伊)	会 員 卓 話 韓国を旅して 片股孝一 「最も重要な人物」 第四部 上映	ガバナー卓話 国際奉仕に特色を 滝 沢 信 二 アジア学院留学生 6名招待	渡辺弥八会員死亡 20日葬儀 鈴木会長 弔辞
	22 日	29 日			
月	会 員 卓 話 韓国水原R.C. W.ショア	外 来 卓 話 深山ダムの現況 建設事務所 次長 奥 昭			

月＼日					
	5日	10日	12日	16〜17日	19日
6月	会員卓話 仙台南R.C.菊地会長を賛えよう。 鈴木基一	馬頭小川R.C. チャーターナイト 於．馬頭高校 21名出席	会員卓話 ローザンヌ大会に出席して 小池　保	地区協議会 於．下館商工会議所	会員卓話 65才の誕生日を迎えて W．ショア
	25日	26日			
	四つのテストの碑除幕式　於．中央公民館前庭 ガバナー卓話、滝沢G. 最終例会会長挨拶 於．昭和亭	次期県内会長幹事会 於．栃木			
	3日	10日	17日	24日	31日
7月	新会長就任挨拶 宮沢　静	新副会長就任挨拶 鈴木伊勢松	クラブ協議会 各委員会本年度計画について 於．中央公民館	会員、家族 健康診断	健康診断結果報告 平野節夫
	7日	14日	18日	21日	28日
8月	会員卓話 ローザンヌ世界大会第二回 小池　保	高校生海外教室帰国報告	高校生海外教室帰国座談会 於．中央公民館	外来卓話 アメリカより帰って 赤羽三男	会員卓話 冷暖房について 大塩直文
	4日	11日	18日	18日	25日
9月	クラブ協議会 各委員会報告	会員卓話 海外教室帰朝報告 W．ショア	外来卓話 各国の現況 アジア学院留学生4名	新会員フォーラム	会員卓話 大津R.C.訪問 森　利男
	2日	6日	9日	16日	23日
10月	外来卓話 国連FAO会議に出席して 高見敏弘	地区年次大会 於．国学院栃木高校 38名出席 出席優秀クラブとして表彰さる	会員卓話 結婚について 植竹徳重 黒須分区代理来訪	ガバナー公式訪問 小林英一ガバナー 黒須光雄分区代理	会員卓話 中年を過ぎたら 平野節夫
	30日				
	会員卓話 国旗について 森　利男				
	8日	11日	13日	20日	27日
11月	創立二周年記念式 滝沢信二P.G. 堀江謙特別代表 於．中公及びいとう	鹿島臨海R.C. チャーターナイト 於．神栖町立体育館 4名出席	会員卓話 脳卒中について 富野和之	クラブ協議会 国際奉仕の在り方について	会員卓話 私の父親 古山　正
	4日	11日	18日	25日	
12月	会員卓話 「運」について 鈴木基一	外来卓話 日本経済の虚構と現実 足銀調査部長 石原恒光	外来卓話 税について 大田原税務署長 田村光友	年末例会 会長より挨拶	

1974年

月＼日					
月＼日	8日	22日	29日		
1月	年頭挨拶 会長 宮沢 勝 直前会長 鈴木基一	ブリヂストン工場 見学 新年懇談会 於、いとう新館	外来卓話 米国教育視察 塩川美好		
月＼日	5日	10日	12日	19日	21日
2月	外来卓話 黒磯R.C.の概況 平山正男	水戸南R.C. チャーターナイト 於、県民文化 センター 20名出席	会員卓話 フイリッピンの旅 小池 保	会員卓話 私の戦争体験 佐藤悦郎	1分区内会長 幹事会 於、氏家商工会館
	26日				
	外来卓話 森林資源に就て 大田原営林署長 田代太志				
月＼日	5日	12日	17日	19日	26日
3月	クラブ年次総会 於、いとう 次年度理事選出 次年度会長選出	クラブ協議会 I.C.G.F.及び 会員増強について	1分区I.C.G.F. 於、町立烏山体育館 出席30名 国際奉仕 サブリーダー 鈴木 伊勢松	I.C.G.F.感想 会員10名	会員卓話 子供の誕生 君島韶二 酒造りについて 関谷直人
月＼日	2日	9日	14日	14日	16日
4月	外来卓話 アジア学院現況 高見敏弘 留学生と交歓会 於、アジア学院	会員卓話 私の生いたち 塩川 兵三郎	氏家R.C.10周年 記念式典 於、勝山城遊園地 14名出席	丸森R.C. チャーターナイト 於、丸舘中学校 体育館 3名出席	会員卓話 丸森R.C. チャーターナイト 鈴木基一
	23日	30日			
	会員卓話 民謡 羽石 美代治	会員卓話 従業員の定着 清水俊夫			
月＼日	7日	14日	21日	26日	
5月	外来卓話 お茶について 瀬屋梅仙 茶席設営	外来卓話 東南アジアの現況 高見敏弘 留学生6名招待	会員卓話 「流れ」について 佐々木照雄 私達夫妻 渡辺陸男	家族会 深山ダム見学 懇親会 於、玉屋ホテル	
月＼日	4日	7日	10日	18日	23日
6月	外来卓話 東欧ソ連視察 那工校長 前原二男	県内会長幹事会 於、足利市民会館	外来卓話 社会福祉について 町民生委員長 相馬一郎	会員卓話 東南アジアの日本 批判 福本治夫	地区協議会 於、小山高校
	25日				
	年度最終例会 退任挨拶 会長 宮沢 勝 幹事 小池 保				

月 日	2 日	9 日	16 日	23 日	30 日
7月	就任挨拶 会長 鈴木伊勢松 幹事 郡司 昌佳	クラブ協議会 予算、会費 パイセリア受け入れ	パストガバナー卓話 南米を旅して 滝沢信二	クラブ協議会 パイセリア 受け入れ	分区代理挨拶 益子重雄 クラブ協議会

月 日	7 日	11 日	20 日	27 日	
8月	パイセリアR.C. 交歓歓迎会 於、いとう 40名来訪	パイセリアR.C. 渡辺次官招待 夕食会 於、千本松 レストハウス	クラブ協議会 パイセリアR.C. 受け入れ反省会	ショア会員 帰米送別会	

月 日	3 日	10 日	17 日	24 日	
9月	会員卓話 化石について 加藤信夫 還元について 君島六郎	外来卓話 町政の現況 町長 阿久津文一	外来卓話 小山R.C.の15年 佐藤俊秀	外来卓話 シュバイツアの心 医博 高橋 功	

月 日	1 日	8 日	15 日	22 日	29 日
10月	クラブ協議会 各委員会報告	外来卓話 アンガウル遺骨収集 三森 太	会員卓話 セブR.C.セブ南 R.C.訪問 鈴木基一	外来卓話 相続と遺言 司法書士 片柳万吉	会員卓話 社長健康法 羽石美代治

月 日	8 日	10 日	12 日	16~17日	19 日
11月	創立三周年記念例会 於、いとう新館 滝沢パストガバナー 益子分区代理 堀江特別代表 26 日、 外来卓話 研修状態について 高見敏弘 アジア学院留学生 9名招待	1分区I.C.G.F. 於、氏家商工会館 出席35名	会員卓話 自動車公害規制 小出正夫	地区年次大会 於、日立市小平 会館 出席24名 出席優秀クラブと して表彰さる。	会員卓話 ロータリーサイン 森 利男

月 日	3 日	10 日	16~17日	24 日	31 日
12月	会員卓話 アメリカ訪問 福本治夫	クラブ協議会 ガバナー公式 訪問について	ガバナー公式訪問 於、ホテル ニュー塩原 田中達次郎G. 益子分区代理	会員卓話 除夜について 草野栄竜	年末所感 会長 鈴木伊勢松

1975年

月 日	7 日	14 日	21 日	28 日	
1月	年頭挨拶 会長 鈴木伊勢松	会員卓話 人口と食糧 斉藤豊吉	新年家族会 於、塩原 ガーデン	外来卓話 特殊学級の問題点 西中 藤井和子	

月＼日					
	4日	18日	25日		
2月	クラブ協議会 国際奉仕及び 青少年問題	クラブフォラム 国際奉仕 社会奉仕	外来卓話 定時制高校に就て 大東高　伊藤教頭 生徒表彰		
	4日	11日	18日	25日	
3月	クラブ年次総会 於、いとう新館 次期理事選出 次期会長選出 次々期会長選出	外来卓話 1975年はどお云う年か 中西重思	挨拶 分区代理の指名を受けて 鈴木基一	外来卓話 アメリカ演奏旅行 坂本勉 君島玉寿絵	
	1日	8日	15日	23日	
4月	久保　浩会員 転勤送別会	外来卓話 町の玄関番として 西那須野駅長 石川新平	外来卓話 森林の計画と特色 大田原営林署長 田代太志	四R.C.合同例会 於、西信組 いとう新館 記念卓話 成人病について　小平　正	
	6日	13日	20日	25日	27日
5月	クラブ協議会 I.C.G.F. 交換学生について	外来卓話 県土木部のあらまし 大田原土木事務所長 小堀政雄	会員卓話 私の進むべき道 岡部稔	佐野東R.C. チャーターナイト 於、佐野西中 出席4名	アジア学院 留学生招待
	3日	10日	17日	21～22日	24日
6月	クラブ協議会 バイセリアR.C.の交換学生受け入れ	クラブフォーラム 交換学生について	外来卓話 アジア学院研修生の紹介 高見敏弘 留学生11名招待	地区協議会 於、石岡信金 一連の国際奉仕につき「ガバナー賞」受賞	家族会 於、塩原パークホテル　塩原名所巡り 地区協議会報告 鈴木基一 退任挨拶 会長　鈴木伊勢松 幹事　郡司　昌佳
	1日	8日	15日	22日	29日
7月	就任挨拶 会長　草野栄竜 幹事　古山正	交換学生 永田、秋田両嬢 壮行会	クラブ協議会 本年度各委員会活動計画	分区代理激励及 前会長、前幹事 慰労会	会員卓話 戦後は終らない 佐藤悦郎
	5日	12日	19日	26日	
8月	クラブ協議会 フォーラムの議題について	クラブフォーラム クラブの社会に対する責任 会員のクラブに対する責任	外来卓話 那須野ケ原の歴史 戸田小 磯忍	会員卓話 盆について 草野栄竜 ドナ歓迎会 於、雲照寺	
	2日	9日	16日	23日	30日
9月	会員卓話 私の故里 小出正夫	アジア学院留学生 9名招待交歓	クラブ協議会 公式訪問について	ガバナー公式訪問 坂本ガバナー 分区代理 鈴木（基）	クラブフォーラム 事例と取り組みましょう

月＼日	7 日	14 日	18 日	21 日	28 日
10 月	会員卓話 指導者の在り方 大野尚一郎	外来卓話 青少年問題と家庭 桜井謙一	地区情報研究会 於、宇都宮	地区情報研究会報告	クラブフォーラム 於、雲照寺 クラブで行う社会奉仕の在り方
月＼日	4 日	11 日	16 日	18 日	25 日
11 月	クラブ協議会 フォーラムのまとめ	県内会長幹事会 （ホスト） 於、ホテルニュー塩原	1分区L.C.G.F. （ホスト） 於ホテルニュー塩原 会員増強サブリーダー　鈴木伊勢松 新会員フォーラム リーダー分区代理 鈴木基一 出席44名	会員卓話 ソ連、ブルガリア旅行 福本治夫	外来卓話 正しい職業観 太田正親
月＼日	2 日	9 日	16 日	23 日	30 日
12 月	アジア学院留学生 13名招待 各国代表挨拶	クラブ協議会 交換学生の経費について	クラブ年次総会 於、いとう 次期理事選出 次々期会長選出	会員卓話 クリスマスの意義 福本治夫	年末会長挨拶 草野栄竜

1976年

月＼日	6 日	・11 日	20 日	27 日	
1 月	会長年頭挨拶 草野栄竜	会員卓話 養鶏について 相馬順一	クラブフォーラム 職業奉仕について	新年家族会 於、いとう新館	
月＼日	3 日	10 日	17 日	24 日	24～25日
2 月	会員卓話 ボーイスカウトについて 森　利男	クラブフォーラム ロータリー綱領の応用何如	外来卓話 マラソンについて 町好走会 藤田正吉	分区代理卓話 R.I.創立記念日 鈴木基一	会員旅行 湯本温泉一泊
月＼日	2 日	9 日	16 日	23 日	30 日
3 月	会員卓話 塩原温泉の歴史 君島久造	黒羽R.C.との交歓例会	大興電気工場見学 クラブ細則第11条の変更承認	懇親放談会	外来卓話 特殊学級の現況 町特級教育成連協 佐藤梅雄
月＼日	6 日	10～11日	13 日	20 日	27 日
4 月	クラブ協議会 年次大会及び家族会について	地区年次大会 於、真岡市民会館 ホスト，宇都宮R.C. クラブ奉仕サブリーダー　鈴木基一 出席38名 出席優秀クラブ表彰	年次大会報告 分区代理　鈴木基一 会員卓話 パイセリア訪問 三森重保	外来卓話 この不況はいつ脱出出来るか 足銀調査部長 石原恒光	外来卓話 剣道について 星野宗太郎

月＼日					
	4　日	11　日	16　日	18　日	25　日
5月	会員卓話 きつき 土山幸三	クラブフォーラム 職業奉仕の 在り方	黒羽R.C. チャーターナイト 於，塩原文化会館 ホテルニュー塩原 出席52名	アジア学院留学生 との交歓 於，アジア学院	外来卓話 在宅訪問について 東小 小西教諭
	1　日	8　日	10　日	14　日	22　日
6月	クラブ協議会 次年度委員会の 構成について	会員卓話 私の経営について 佐々木照雄	五R.C.合同 懇談会 於，黒磯 石山	交換留学生ドナ及び スコット両君送別会 於，雲照寺	クラブ協議会 国際青少年 関係について
	26〜27日	29　日			
	地区協議会 於，足利市民会館	退任挨拶 草野栄竜会長 吉山　正幹事			
	6　日	13　日	20　日	27　日	
7月	就任挨拶 会長　小池　保 副会長　植竹徳重 幹事　小滝信光	クラブ協議会 各委員会本年度 活動計画	派米留学生帰国報告 永田、熊田 分区代理挨拶 関　三郎	カゴメ工場見学 派米留学生帰国 歓迎会	
	3　日	10　日	17　日	24　日	31　日
8月	会員卓話 パイセリアの印象 郡司昌佳	クラブ協議会 予算及び決算	外来卓話 地方自治について 町長 阿久津　文一	納涼懇親会 於，塩原 パークホテル	会員卓話 誕生日に因んで 三森重保
	7　日	14　日	21　日	28　日	
9月	外来卓話 アジア学院現況 高見敏弘 留学生５名招待	クラブ協議会 公式訪問について	ガバナー公式訪問 ガバナー江幡広松 分区代理関　三郎 於ホテルニュー塩原	外来卓話 ニューギニア遺骨 収集 妙雲寺住職河瀬明一	
	5　日	12　日	19　日	26　日	26　日
10月	名誉会員 W.E.ショア歓迎会	外来卓話 教育を考える 元教育長　君島	会員卓話 サービスについて 羽石　美代治 心臓破りのダム 富野和之	クラブ協議会 炉辺会合のテーマ	地区情報研究会 於，土浦京成 ホテル
	2　日	9　日	14　日	16　日	30　日
11月	クラブ協議会 優良従業員 表彰者選考	地区情報研究会報告	1分区I.C.G.F. 於，馬頭山村開発 センター 国際奉仕リーダー 草野栄竜 R.財団サブリーダー 小林正治	地区情報研究会報告	会員卓話 台湾視察旅行 膨湖R.C.訪問 大塩直文
	7　日	14　日	21　日	28　日	
12月	会員卓話 台湾膨湖島８ミリ 上映 鈴木基一	会員卓話 県自動車保有の実情 小出正夫	クラブ年次総会 次年度理事選出 次年度会長選出 次々年度会長選出 優良従業員表彰 於，いとう新館	年末挨拶 会長　小池　保 幹事　小滝信光	

2. 各年度クラブ役員並びに委員長

クラブ役員

年度	1971−72	1972−73	1973−74	1974−75	1975−76	1976−77
会長	鈴木 基一	鈴木 基一	宮沢 勝	鈴木伊勢松	草野 栄竜	小池 保
副会長	三森 重保	三森 重保	鈴木伊勢松	草野 栄竜	小池 保	植竹、小出
幹事	藤森 武雄	小出 正夫	梨本、小池	郡司 昌佳	古山 正	小滝 信光
S. A. A.	林 美知三	伊藤 俊三	伊藤 俊三	吉田 美雄	室井 行男	関谷 直人
会計	梨本 欣司	梨本 欣司	久保 浩	奈良部 昭	奈良部 昭	石川 耕蔵
理事	鈴木 基一 三森 重保 藤森 武雄 宮沢 勝 草野 栄竜 伊藤甲太郎 塩川兵三郎	鈴木 基一 三森 重保 藤森 武雄 宮沢 勝 草野 栄竜 伊藤甲太郎 塩川兵三郎	宮沢 勝 鈴木伊勢松 小池 保 伊藤 俊三 大塩 直文 鈴木 基一 小出 正夫 大野尚一郎	鈴木伊勢松 草野 栄竜 吉田 美雄 宮沢 勝 小滝 信光 手塚 徳次 福本 治夫 羽石美代治	草野 栄竜 小池 保 関谷 直人 鈴木伊勢松 森 利男 佐藤 悦郎 植竹 徳重 小林 正治	小池 保 植竹 徳重 草野 栄竜 加藤 信夫 君島 六郎 土山 幸三 片股 孝一 室井 行男

委員長

年度	1971−72	1972−73	1973−74	1974−75	1975−76	1976−77
クラブ奉仕	三森 重保	三森 重保	鈴木伊勢松	草野 栄竜	小池 保	植竹、小出
出席	大塩 直文	大塩 直文	井上 正夫	斉藤 豊吉	君島 六郎	江連 和雄
職業分類	大野尚一郎	大野尚一郎	吉田 美雄	宮沢 四郎	高橋 正男	渡辺 陸男
会報	川上壮之助	川上壮之助	小滝 信光	小林 正治	沢口 謙三	吉田 美雄
親睦活動	井上純一郎	井上純一郎	室井 行男	古山 正	関谷 直人	君島 久造
雑誌	福本 治夫	福本 治夫	手塚 徳次	関谷 直人	加藤 信夫	岡部 稔
会員選考	小出 正夫	林 美知三	片股 孝一	佐藤 悦郎	青山栄一郎	佐藤 悦郎
会員増強	鈴木伊勢松	鈴木伊勢松	土山 幸三	蜂巣 栄	鈴木伊勢松	伊藤 俊三
プログラム	渡辺 弥八	渡辺 弥八	小林 正治	森 利男	森 透	斉藤 豊吉
広報	小池 保	小池 保	鈴木 基一	宮沢 勝	郡司 昌佳	佐々木照雄
R. 情報	宮沢 勝	宮沢 勝	大塩 直文	鈴木 基一	宮沢 勝	小出 正夫
スマインBOX	—	—	宮沢 四郎	伊藤 俊三	渡辺 陸男	相馬 順一
職業奉仕	伊藤甲太郎	伊藤甲太郎	小出 正夫	手塚 徳次	佐藤 悦郎	土山 幸三
社会奉仕	草野 栄竜	草野 栄竜	小池 保	小滝 信光	森 利男	加藤 信夫
青少年	—	—	森 利男	植竹 徳重	大塩 直文	君島 六郎
国際奉仕	塩川兵三郎	塩川兵三郎	大野尚一郎	福本 治夫	植竹 徳重	片股 孝一
R. 財団	手塚 徳次	藤森 武雄	郡司 昌佳	羽石美代治	小林 正治	室井 行男
国際青少年	—	—	福本 治夫	富野 和之	福本 治夫	—

3. 年度別会員数及び出席率

年度＼月		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	年平均 / 地区内順位
1971～72	会員数						27	26	25	25	28	28	31	97.31 %
	出席率						92.59	94.23	99.20	97.00	98.17	100	100	10位
1972～73	会員数	31	32	32	32	31	38	38	38	36	36	33	32	97.70 %
	出席率	95.99	96.88	96.10	95.97	98.54	100	99.47	97.35	96.53	97.92	99.65	100	10位
1973～74	会員数	31	34	43	43	43	44	43	42	42	46	47	47	98.06 %
	出席率	98.08	98.44	98.25	100	95.45	95.93	94.57	98.81	97.62	99.57	99.47	100	9位
1974～75	会員数	45	43	46	46	46	46	45	47	47	47	47	48	98.32 %
	出席率	96.44	93.33	96.68	98.26	97.83	98.67	99.46	97.87	97.33	98.99	100	100	8位
1975～76	会員数	48	47	46	47	48	48	48	47	46	48	48	47	99.10 %
	出席率	97.08	98.93	98.26	98.39	98.43	100	100	100	100	100	98.95	99.16	4位
1976～77	会員数	47	48	48	48	47	46	53	54	54				
	出席率	96.78	96.92	96.36	100	96.80	100	100	99.54	94.44				

4. ロータリー財団年度別実績

年度	基準会員数	年間寄付額	累計額	達成率
1971 ～ 72	27	310.02 ドル	310.03 ドル	100%
1972 ～ 73	27	366.71 ドル	646.73 ドル	200%
1973 ～ 74	38	1,336.01 ドル	1,982.74 ドル	500%
1974 ～ 75	44	1,730.00 ドル	3,752.73 ドル	800%
1975 ～ 76	45	2,130.00 ドル	5,902.73 ドル	1300%
1976年12月迄	48	2,610.00 ドル	8,513.45 ドル	1700%

ポール・ハリス準フェロー（27名）

福本治夫	小林正治	加藤信夫	渡辺陸男
関谷直人	郡司昌佳	古山　正	藤森武雄
伊藤甲太郎	片股孝一	室井行男	平野節夫
伊藤俊三	君島六郎	大武春雄	宮沢四郎
鈴木伊勢松	小池　保	森　利男	君島韶二
鈴木基一	草野栄龍	土山幸三	宮沢　勝
吉田美雄	森　透	小滝信光	

5．地区関係及び分区関係

分 区 代 理：

1975～76年度第355地区栃木県第一分区代理

鈴 木 基 一

地区委員及び地区大会委員：

1974～75年度地区世界社会奉仕委員会委員

宮 沢 勝

1976～77年度地区クラブ会員増強並に職業分類委員会委員

鈴 木 伊勢松

1975～76年度第355地区年次大会プログラム委員

鈴 木 基 一

地区行事ホスト：

1975年11月11日　栃木県内会長幹事会

於．ホテルニュー塩原

1975年11月16日　栃木県第一分区Ｉ．Ｃ．Ｇ．Ｆ．

於．ホテルニュー塩原

地区大会部門別協議会サブリーダー：

1976年4月11日　クラブ奉仕部門サブリーダー　鈴木 基一

栃木県第一分区I. C. G. F. 部門別協議会リーダー及びサブリーダー：

1973年4月8日	職業奉仕部門サブリーダー	宮沢 勝
1974年3月17日	国際奉仕部門サブリーダー	鈴木伊勢松
1974年11月10日	クラブ奉仕部門サブリーダー	森 利男
1975年11月16日	新会員フォーラムリーダー	鈴木 基一
	会員増強サブリーダー	鈴木伊勢松
1976年11月14日	国際奉仕部門リーダー	草野 栄龍
	ロータリー財団部門サブリーダー	小林 正治

6. 国際奉仕事業業績報告

〈経　過〉

この業績報告は過去４年間にわたって、若いクラブがめくらへび的に体当りで行った一連の事業で、決して完璧を期した巧妙な運営が行われたものではない。しかし、与えられた機会をつかんで、これを情熱的に推進するチームワークが思いがけない縁をひらき更に次の結果を生む一例としてならば、たしかに御一顧を促がすに価する事業であったと思う。

与えられた機会とは、米人宣教師ウォルター・Ｅ・ショア氏がクラブメンバー中の牧師福本治夫君の奉職する西那須野教会に配属され、３年間の長い滞日期間を有したことから始まる。彼は既に神奈川県の鶴川学園において２ケ年の職員生活を経て居り、西洋の一般人には殆んど知られていなかった日本人の持つ可能性について驚きと喜びを体験していたのである。鶴川にいてキリスト教団を背景とする「東南アジア農村指導者養成」の事業を手がけていたが、より立地条件に恵まれた西那須野町に於て、彼はその仕事を実のらせたいと念じ広い農場を持つ校地を求めていた。これは現栃木北部イセキ販売(株)社長郡司昌佳君の利害をはなれた協助によって『アジア学園』の創設に成功したのである。学園の理事に就任した福本・郡司両君はクラブ創立会員の一人であり、東南アジアの留学生を迎える学園の価値について、国際奉仕活動の対象とする理念をかゝげ、当然早くから理解と親睦を深める紹介が行われていた。

創立会長鈴木基一君は、その第２年度の初めに、社会的功献度の高い、品性識見に優れたショア氏を会員として推薦し民族を超えた親和を打ち出した。異色の会員を迎えて、クラブの国際理解を援け

る大きな因となった。

会員の大多数は仏教徒であるが特に宗教色を固執することなく全ての行事に参加し、忽ち個々にも親しい友好が始った。彼はロータリーに入会出来たことを非常に誇り高く受けとめ本来の使命と同時にその理想を価値づけていた。殊に会員の事業所を全部廻ってスライドに構成し、自身説明を録音して郷里のクラブへ送ったことは、後日両クラブの友情がひらける〝かけ橋〟になったのである。

昭和48年7月～8月〔会長・宮沢勝君〕ショア会員を団長とする高校生22名、福本副団長、教師赤羽氏同道の夏季留学日米交換の第一陣が旅立った。事故なく帰国、有益な成果を収めたことは地域内に於ける一般の信望を大いに高めた。

同49年8月、今回はヴァイセリアR.C.主催の交換学生を迎える段であるが、これは意外な番狂わせが起った。訪日の連絡は高校生13名とヴァイセリアR.C.会員、父兄家族等38名計51名と云う混成大集団であった。しかも一行中にはヴァイセリア市長ポーター夫妻の名も見えたからである。一行は同市の姉妹都市兵庫県三木市にも訪問する目的を持ち、京都奈良・東京鎌倉等の観光を含む多彩な企画であり、日本の風俗習慣・殊に歴史、社会、芸術、宗教について理解を深めたいという希望で〝民泊〟が所望されていた。当クラブの驚きは一と通りのことではなく、市長に対する儀礼としても町長議長、教委公民館等の参加を求める大行事を計画せねばならなかった。

全員招待の例会一回、歓迎パーティ、送別パーティーの2宴を催しその間3泊を会員宅1泊をホテルに招じ、学生には別に交歓キャンプが行われた。町開闢以来の多数の外人を迎えて冷汗三斗の大さわぎではあったが、大部分の会員が自宅へ迎えた3晩の家庭接待は当方で思う3倍も5倍もの歓びと親しさと、そして何よりも信頼をもたらす結果となった。勿論個人同志の文通も始められた。与えられた小さな機会が大きな広がりになったと申上げたのはこの謂はゞ親同志の信頼をもとにして若ものをあづけたりあづかったりしよう

と云う段階に進展したことを指している。

昭和49年11月、福本会員は教会の要務で渡米したのでV市を訪れた。Vクラブでは前年の訪問とは比較にならない応待で、「ヴァイセリアに日本ブームが起っている」と告げられた。そして西那須野に返礼する過重負担に悩んでいると喜びに溢れて口々に謝辞を寄せられた由である。その時に青少年委員長のレイ・シュリック氏（一行の参加者）は熱心にクラブ同志の学生交換計画を語りかけ、恰も既定の計画の如く細部にわたって案を示した。福本会員は国際奉仕委員長であり、示された内容は感激すべき夢であった。しかもVクラブでは数年間前からノルウェーのクラブと学生を交換して居り学校の受入れ態勢からホスト家庭の経験をつんだベテラン揃いのクラブであった。従って体験に基いた計画案であるから、その夢は実現の可能性を充分にそなえていたのである。

もしもV市に日本ブームが起きていなかったならば日本へ来る応募者の無いまゝ企画倒れになったかもしれない。この報告を受けて鈴木伊勢松会長はやゝ当惑気味の理事会を盛り上げてクラブ協議会に、実施の線を打ち出す気運を高めた。継続事業として副会長〔草野〕が下準備の各項目に参画し、レイ・シュリック氏↔福本会員を窓口とする沢山な文書の往復により計画が進行した。6月を学年末とするアメリカの高校に第一学期から入学するためには7月早々に派遣生を送り、又夏休み中に受け入れ生徒を迎える準備が必要であったからである。

派遣生の選考は4高校の協力を得て3月に希望者を募る発表を行った。

学校の成績を参照し人物選考及び語学力のテストを行うこととしクラブの選考委員を定めた。

選考委員長	鈴木伊勢松	
委員	草野栄龍	郡司昌佳
	冨野和之	小池　保
	土山幸三	青山栄一郎

植竹徳重　　森　透
渡辺陸男　　大野尚一郎
大塩直文　　小出正夫

応募者11名より次の2名が選考された。

大田原女子高等学校　2学年修了(3年生)　永田美佐江
同　　1学年修了(2年生)　熊田文子

昭和50.3.10附　ヴァイセリアR.C.会長宛　当クラブに於て2名の交換学生を受け入れる旨招待状を発送

期間　1975, 6月 → 1976, 5月

受入条件　授業料保証　会費保証　室代保証　ポケットマネー月額 3,000円　羽田空港・西那須野旅費(往復)

註. 室代とあるが食費一切を含むことは申合せ

昭和50, 5, 1

漸やくねり合せた交換契約が成立正式に文書をとりかわした。

バイセリアR.C.524地区　ヴァイセリア、カルフォルニア、米国

西那須野R.C.　355地区　西那須野、栃木県、日本

国際理解の目的で

〈背　景〉

— 1973年に西那須野ロータリークラブは、23名の高校生と3名の指導者をバイセリアに派遣した。

— 1974年にトム・ポーター市長夫人及び、バイセリア市会議員を含むバイセリア・ロータリークラブ員は非公式な親善訪問旅行を西那須野に行った。

— 1976年、友情と親善を深める目的をもって、私共はこれら両市間で高校生交換プログラムに着手した。

〈計　画〉

1. バイセリアと西那須野R.C.の国際青少年委員会は此の計画を責任をもって委託される。
2. 国際青少年委員会は、この計画を該当のロータリークラブのボ

ードに提出する。ロータリークラブボードからこの計画の承認を得たならば、両クラブの会長は、地区ガバナーに報告する。

3．両クラブ会長は実行委員会を組織する。

4．実行委員会は下記の様に実行される。

5．招聘される条件

「海外で勉強しようと思う、海外留学希望の学生」は、規定の申込用紙を下記の各書類と共に提出する必要がある。

a　健康診断書

b　両親の承諾書

c　彼又は、彼女の在学高等学校長の推薦書

d　受入れた家庭の家族は、訪問学生の年間学資を支払うこと。

e　日本人学生は、米国に於ける高校の正規学生として登録されるに充分な英語の能力をもたなければならない。

f　訪問学生の両親は、東京↔ロスアンゼルス間の往復旅費を支払わなければならない。

g　交換学生は、2名であること。

西那須野：学生（少年又は少女）はシニア・ハイスクールの2年又は3年……11年か12年生に受入れられる。

h　学生は自分自身の1ケ年間の傷病保険を自分で支払って入っていること。

6．バイセリアと西那須野のロータリークラブのギャランティは次の通りである。

（a）国際空港からホストの家までの旅費

（b）ホストは一ケ年間（12ケ月）部屋と食事を給する。

（c）1ケ年間（12ケ月）の小遣い米国で120ドル日本で36,000円。

（d）その他特別の支出については、ロータリークラブボードの承認があれば支払われる。

〈署　名〉

会　長　ドン・マレー　　会　長　鈴木伊勢松

レイ・シュリック　　　　　　　　　　福本治夫
　交換学生担当者　　　　　　　　　　国際奉仕委員長

註・規定の他申合せ事項として

ホスト家庭は1名につき3家庭（4ケ月宛）計6家庭を準備すること。なるべく同年配の子弟のある家庭をえらび孤独感を救う配慮をすること　家庭はクラブメンバーであること。など

小遣いは5ケ月目以降物価上昇のため共に倍額支給された。クラブは到着時と帰国時の2回国際電話の通話料金を支出する。

自動車・オートバイの運転を禁止する。

西那須野R.C.に於て事前に通報したホスト家庭は

小林正治、吉田美雄、福本治夫、草野栄龍、鈴木伊勢松、郡司昌佳

昭和50年7月13日　派遣生　永田美佐江、熊田文子両名は羽田空港から飛び立った。家族のほかクラブからは草野会長・福本国際青少年委員長が見送り、福本君が一切の出国手続きを完了した。両名は直ちにバイセリアに向わず、サンルイスオビスポのトロピカナ寮に入寮1ケ月間の英語講習を受ける。ロスアンゼルス空港にレイ・シュリック氏が出迎え、無事入寮することが出来た。

9月の第Ⅰ学期入校を前に2人は夫々シュリック氏に迎えられてバイセリア市に到着、熊田文子はDuane Scott 氏の宅に部屋を与えられ快適な生活が始った。入学手続きは同市内のレッド・ウッド・ハイスクールに決まった。取得単位は、タイプライティング、米国史、三角函数、化学、体育、英会話

永田美佐江は一時シュリック氏宅に落ち着き、ホスト家庭Hall 氏のお宅へ。Exeter　高校に登録された。米国自治、数学、国語第12巻、体育、音楽、タイプライティングの単位取得の申込みをした。

8月15日　米学生ドナ・クラーク嬢が羽田着、植竹国際、小林ホス

ト福本国青委3名にて出迎え。福本宅に一週間滞在
同嬢には草野・福本署名で法務大臣に招聘状と身元保証書及び栃木県立大田原女子高校長長谷川忠良氏の1ケ年間特別聴講生としての入学許可書が届け出されている（7．1付）

Donna Kaye Clark

本籍　パイセリア市バックウッド2631番地　電 734～3177
生年月日　1957，5，16.　女子　身長 5.3フィート
体重 118ポンド　父　ウィリス・クラーク（水道管工事請負人）
母　ローレンス・クラーク　学校　マウント・ホイトニー高校（本年6月卒業）　専攻科目・心理学、大学進学希望、心理学者になりたい。スポーツ好。

8月23日ホスト小林正治R財団委長宅へ。同家の小林かおりさんと共に9月1日より大田原女子高校へ通学を始めた。

9月16日　リー・スコット君羽田着　片股国際員、吉田ホスト、福本委長及びドナ・クラークが出迎。同じく福本宅に一週間滞在。同君には、草野・福本名で法務大臣宛招聘状(前記同)が届出されている（7．22付）但し大田原高校では特別聴講生の入学許可が得られず、アジア学院々長高見敏弘氏名で1ケ年の入学許可書が送付された。
（既に高校を卒業しているため）

Lee Scott Laugenour

本籍　パイセリア市Cornell 2830　電 732～7822
生年月日　1957，7，17　男性　身長5.10フィート
体重 145ポンド　父．ロバート・ローグナー（証券業）
母．アンディ・ヴォーシン・ローグナー（教師）
学校　マウント・ホイットニー高校（6月卒業）
進学希望　ジョージ・タウン大学（ニューヨーク）
専攻　外国語、社会学　→　外交官志望。　テニス、水泳

9月25日ホスト吉田美雄出席委（前S．A．A）兼国際委、宅へ
アジア学院に在籍しつゝ大田原高校の英語クラブに参加。アジア学

院内では米人教師も居り又全教科の授業が英語で行われているため日常語の日本語を習得するには便宜が与えられた。但し農業の実習には参加しない。

9月23日　坂本ガバナー公式訪問の例会席上に於て米生徒2名は夫夫ガバナーに紹介され、叮重懇切な励ましのことばを頂いた。

～受け入れ生・派遣生ともに元気に就学、最初のホームシックや戸惑いも解消し一応の落ち着きを見せたが、派遣生が日本の高校で在学中の、通学熱心な習慣をそのまゝ履行しているのに比して、既に高校を卒業した米学生の成年意識は慣れるに従って〝日本の学校〟にはなじみきれない様子が見えはじめた。無理もないことであるが無理なこと、理解する迄に我々は相当な日数を要したのである。

11月　町内の史蹟めぐりに、町長が2人を招待、中食を会食して下さる。大高・大女子高が相前後して関西四国をめぐる修学旅行に出発、2人はそれぞれ大喜びで参加した。

12月　第一例会に〔毎月第一例会に招待〕始めて日本語で挨拶を行う。ドナ嬢は全部原稿をひら仮名で書き（毛筆）スカットはローマ字で綴って自作の挨拶文を読んだ。驚く程上手であった。

第4週に永田・熊田両派遣生からの第一学期修了の便りが朗読された。苦労の跡が行間ににじんでいたが、期末テストの成績はクラスの上位であることがわかり我々を感動させた。

昭和51年1月　ホスト家庭交替、ドナ嬢は福本君宅へ。スカット君は郡司君の予定であったが夫人が重病で入院のため3週間福本君宅へ依頼。2月初旬草野宅へ入る（スカット君はそのまゝ帰国までこゝで暮した）

～V市姉妹都市「三木市」訪問　三木ロータリークラブ訪問

ドナ嬢は3月　スカット君は5月　各々歓待を受けた。

〈結　果〉

スカット君は6月23日　羽田発（草野、福本、植竹、吉田、ホスト夫人及び友人学生多数見送り）彼は元気に（下駄ばきで）再会を約しつゝ帰国した。ドナ嬢は6月帰国が延び（ホスト家庭を

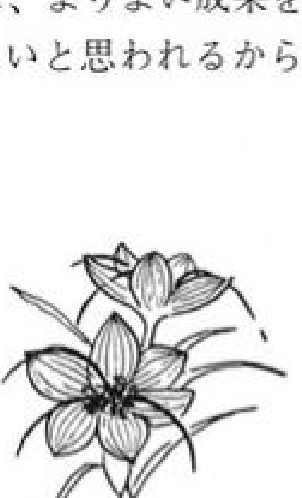
鈴木伊勢松君宅へ移る）7月13日　羽田発（鈴木夫妻、草野、福本、植竹、小林、吉田夫妻、友人多数見送り）

派遣生永田、熊田両嬢も7月12日安着した。

共に非常な元気で成績も上位を持続、努力賞を受賞した。熊田文子は母校へもどるが、永田美佐江はエクゼター高校を卒業、特にすゝめられて再度渡米し大学へ進学することになった（進学後は当クラブの支援範囲外)。ショア夫妻がホスト家庭として世話をして下さる（22日再び渡米）

受入れ学生については、日本高校の卒業式を〝見学〟したにとゞまったが、これは日本語授業の受講資格がない上、カリフォルニア州法で在校生の海外留学が認められず卒業後の来日であるからで、もとより本人も望んでいない。国際理解と云う目的のためにならば彼らは充分その目的を達成し、日本の最北端から鹿児島まで精力的に歩きまわって広い見聞を自ら掴んで帰った。日本語は普通の会話ならば殆んど不自由なく単独旅行も迷子になる心配はなかった。歌舞伎鑑賞もびっくりする程の理解力を示し、それらを通じて、双方の成果に改めて〝若さの可能性〟を讃歎した次第である。

当クラブとしては多くの反省点を抱え先方の希望を一時見合せ一年間の休止を申し入れた。これは大学所在地のクラブと提携する等の方式が熟慮されなくては、より良心的に、よりよい成果を挙げる交換計画として発展させることがむづかしいと思われるからである



5
会員のよこ顔

青 山 栄一郎
大正11年9月20日生
㈲柏屋旅館社長
昭和49年5月7日入会

江 連 和 雄
大正9年6月12日生
㈲江連鉄砲火薬店社長
昭和49年4月9日入会

福 本 治 夫
昭和2年11月14日生
西那須野教会牧師
昭和46年12月10日入会

古 山 正
昭和10年10月1日生
㈲湯の町デパート社長
昭和48年8月14日入会

郡 司 昌 佳
昭和12年8月2日生
㈱栃木北部ヰセキ販売社長
昭和46年12月10日入会

蜂 巣 栄
昭和3年9月22日生
蜂巣税務会計事務所長
昭和48年9月4日入会

広 瀬 久
昭和11年6月3日生
㈱睦スタイル社長
昭和52年1月11日入会

井 上 正 夫
大正13年12月20日生
㈲井上電気商会社長
昭和47年6月1日入会

伊 藤 甲太郎
明治36年9月23日生
㈲光陽社社長
昭和46年12月10日入会

伊藤俊三
大正13年10月21日生
㈲伊藤保雄商店社長
昭和46年12月10日入会

石川耕蔵
大正15年2月20日生
㈱足利銀行西那須野支店長
昭和51年7月13日入会

片股孝一
大正1年10月5日生
㈲丸幸林産社長
昭和47年11月21日入会

加藤信夫
大正10年8月10日生
㈲木ノ葉化石園専務
昭和49年4月2日入会

金子哲也
昭和14年2月1日生
㈱金子産業専務
昭和51年8月3日入会

君島隣
大正3年10月28日生
㈲君島生花店社長
昭和51年7月6日入会

君島久造
昭和8年2月11日生
㈲光雲荘社長
昭和49年9月3日入会

君島六郎
大正11年8月15日生
㈲元泉館社長
昭和49年4月2日入会

小林正治
昭和7年2月19日生
㈱二宮木材専務
昭和47年11月21日入会

小林正一

昭和３年６月６日生
㈲小林モータース社長
昭和52年１月4 日入会

小出正夫

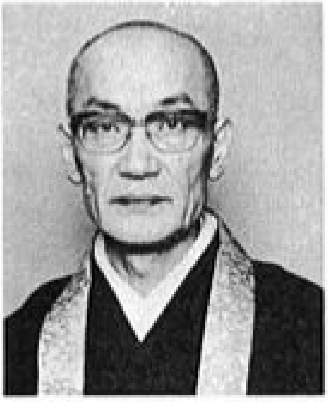
大正３年９月20日生
㈱那須車輌整備社長
昭和46年12月10日入会

小池　保

大正12年11月１日生
㈲小池建設社長
昭和46年12月10日入会

小滝信光

昭和16年７月５日生
㈲小滝光男商店専務
昭和46年12月10日入会



草野栄龍

大正６年12月10日生
雲照寺住職
昭和46年12月10日入会

三森重保

明治32年８月22日生
㈲三森金物店社長
昭和46年12月10日入会

宮　利男

昭和９年５月25日生
㈲宮製材所役員
昭和52年１月11日入会

森　利男

大正７年11月１日生
㈲インテリアもり社長
昭和47年11月21日入会

森　透

昭和５年11月15日生
㈲吉田屋商店社長
昭和48年９月４日入会

室井行男
昭和2年8月11日生
㈱共栄製作所社長
昭和47年11月21日入会

中里　正
昭和3年5月4日生
㈱中里工業社長
昭和52年1月4日入会

大塩直文
昭和3年8月7日生
大塩整形外科医院院長
昭和46年12月10日入会

大島彦四郎
昭和6年10月9日生
㈱那須設備社長
昭和50年5月30日入会

大武春雄
昭和8年2月11日生
オオタケ化粧品店店主
昭和49年4月8日入会

岡部　稔
昭和17年3月9日生
㈱ホテルニュー塩原専務
昭和50年1月21日入会

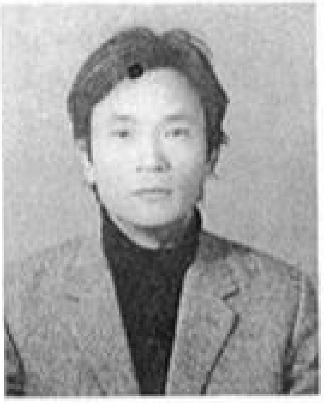
斎藤豊吉
昭和16年1月2日生
㈱山和建設社長
昭和47年6月1日入会

佐々木照雄
大正15年3月30日生
農業自営
昭和48年9月4日入会

佐藤悦郎
大正2年3月18日生
佐藤医院院長
昭和48年9月4日入会

沢 口 鎌 三
昭和７年９月10日生
㈱沢口鎌三一級建築士事務所社長
昭和49年４月16日入会

関 谷 直 人
昭和８年11月28日生
関谷酒店店主
昭和48年９月４日入会



下 平 清 人
昭和11年２月９日生
工芸染色自営
昭和50年11月４日入会

城 田 正 男
大正２年９月７日生
㈱那須製紙社長
昭和52年１月11日入会

相 馬 順 一
大正13年１月６日生
相馬養鶏場主
昭和47年6 月１日入会

鈴 木 洋 利
昭和４年４月27日生
㈲昭和軒商事社長
昭和52年２月１日入会

鈴 木 伊勢松
大正８年１月８日生
㈱鈴木電機社長
昭和46年12月10日入会

鈴 木 基 一
大正11年12月28日生
西那須野医院院長
昭和46年12月10日入会

高 橋 正 男
昭和９年６月７日生
大田原信金西那須野支店長
昭和48年８月21日入会

田辺祐功
昭和13年12月9日生
栃木相互銀行西那須野支店長
昭和51年4月6日入会

手塚徳次
大正13年7月14日生
㈲三河屋呉服店社長
昭和46年12月10日入会

戸田白鳳
大正6年3月27日生
那須寺住職
昭和52年1月11日入会

冨野和之
明治41年9月30日生
冨野医院院長
昭和48年9月4日入会

土山幸三
大正8年11月6日生
㈱土山土建社長
昭和47年9月18日入会

鶴見友次
昭和4年3月25日生
㈱足利銀行塩原支店長
昭和50年10月28日入会

渡辺陸男
大正1年10月18日生
㈲渡辺電気商会社長
昭和48年9月4日入会

山口正春
昭和6年2月28日生
カメラ三光堂店主
昭和52年1月4日入会

吉田美雄
大正14年6月25日生
㈲十一屋肉店社長
昭和46年12月10日入会

あ と が き

「ロータリーに早く融け込んだ人が，ロータリーに這入って価値ある人――ロータリーに這入って良かったと思われる人，その人はロータリーに這入って非常に幸福な方だと私は思うのです．その幸福を掴むのは人から与えられるものではなくて，自ら掴む以外にございません．自らロータリーの良さを捜して掴む，これ以外にはございません．」との言葉は創立間もない当クラブの第２回例会に於ける〝おやぢさん〟滝沢ガバナーの卓話の一節でございます．あれから五年余を経た今日，会員一人一人の胸に実感として受け止めることが出来るのではないでしょうか．

又本クラブにとりましては忘れることの出来ませんも一方，坂本守直前ガバナーが御多忙のところ，本記念誌の為に特に一文をお寄せ下さいました．御寄稿いただきましたことによりまして，一層内容のある，重みのある記念誌に相成りましたことを会員一同深謝致しております．常に変りませぬ御恩情に篤く御礼申し上げます．

今ここに，このささやかな五年誌を発刊致すことに相成りましたが，只単に過去の栄光を懐しむものであってはならないと思います．これは一つのマイルストーン．一里塚でございます．この変転の激しい1970年代をクラブとして，将亦，ロータリアンとしていかに生きるかを改めて考える時ではないかと思うのでございます．

この記念の小冊子を編集するに致しましても，いかに資料が大切であるかを痛感致しました．編集にあたりましては，草野会員に大変お骨折りをいただき，又写真につきましては山口会員に負うところが多かったことを特筆致しますと共に，委員諸君の御協力に感謝致します．

（編集委員長　**鈴 木 基 一**記）

記念誌編集委員会

委員長	鈴木基一
副委員長	草野栄龍
委員	小池　保
	小滝信光
	室井行男
	加藤信夫
	青山栄一郎
	手塚徳次
	福本治夫
	蜂巣　栄
	金子哲也
	山口正春

発行者　西那須野ロータリークラブ
五周年誌編集委員会
栃木県那須郡西那須野町
永田町3の6
足利銀行西那須野支店内
発行日　昭和52年3月29日
印刷所　有限会社 光陽社

西那須野ロータリークラブ
昭和四十六年十一月八日創立
同年十二月十日国際ロータリー加盟認証
設立時ガバナー 瀧澤信二
特別代表 堀江虔
初代会長 鈴木基一
福本治夫 小瀧信光 大塩直文
郡司昌俊 小出正夫 齋藤豊喜
羽石美代治 小池保 W・E・ショア
林真知三 久保浩 塩川兵之輔
平野節夫 草野榮龍 清水俊夫
井上正夫 三森重保 鈴木伊曽松
伊藤甲子郎 宮澤勝 手塚信次
伊藤俊三 宮澤四郎 上山常三
茂木孝一 森利男 渡邊猶八
川上近男 室井行男 喜田美雄
川上壯之助 梨本欣司
小林正治 大野尚一郎
昭和四十八年六月四日建立